

CA Desktop Migration Manager

内部スクリプト ガイド

サービス パック 12.8.01



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、
(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルセットで参照されている CA 製品は、以下のとおりです。

- CA Advantage® Data Transport® (CA Data Transport)
- CA Asset Intelligence
- CA APM (CA Asset Portfolio Management)
- CA Common Services™
- CA DMM (CA Desktop Migration Manager)
- CA Embedded Entitlements Manager (CA EEM)
- CA NSM (CA Network and Systems Management)
- CA Patch Manager
- CA Process Automation
- CA Business Intelligence
- CA Service Desk Manager
- CA WorldView™
- CleverPath™ Reporter

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: スクリプトの参照	9
第 2 章: システム スクリプト	11
デザイン.....	11
アイコンの整列.....	13
背景.....	14
コマンド プロンプト.....	15
ダイヤルアップ.....	15
コンピューターの簡単操作センター.....	18
フォルダ オプション.....	19
一般.....	21
アイコン.....	22
IMESettings.....	24
Java.....	26
キーボード.....	27
マウス.....	28
MUI.....	29
ネットワーク.....	29
ODBC.....	30
オフライン ファイル.....	31
プリンタ.....	32
クイック 起動 ツールバー.....	34
地域.....	35
リモート デスクトップ 接続.....	36
スクリーン セーバ.....	36
送る.....	38
共有 ポイント.....	38
サイドバー.....	39
サウンド.....	40
タスクバー.....	40
タイム ゾーン.....	42
ユーザ アカウント.....	42
Web 設定.....	43
ワイヤレス.....	44

第 3 章: アプリケーション スクリプト

47

ACT!	48
Acrobat	49
Adobe Acrobat Reader	50
Adobe Illustrator	53
Adobe InDesign	55
Adobe PageMaker	56
Adobe PageMill	57
Adobe PhotoShop	57
Adobe Type Manager	59
America Online	60
AOL Instant Messenger	61
Backup Exec Desktop Pro	63
BlackBerry	63
BrightStor ARCserve Backup for Laptops and Desktops	64
Conversion Plus	66
CorelCENTRAL	67
Corel Paradox	69
Corel Presentations	70
Corel Quattro Pro	72
Corel WordPerfect	73
eTrust Antivirus	75
eTrust PestPatrol	78
eTrust Threat Management (eITM)	80
Eudora Pro	81
Exceed	82
Executive Software Diskeeper Workstation	83
Flash Player	83
File Maker Pro	84
FTBAB	85
Gold Mine	86
Google Chrome	87
HomeSite	88
ICQ	89
InoculateIT Anti-Virus Protection	90
Internet Explorer	91
Lotus 1-2-3	94
Lotus Approach	95
Lotus Freelance Graphics	96
Lotus Notes	96
Lotus Organizer	98

Lotus WordPro	99
Macromedia Director	100
Macromedia Dreamweaver	101
Macromedia Fireworks	102
Macromedia Freehand	103
McAfee Security Center	104
Microsoft Word	105
Mozilla Firefox	107
MS Access	108
Microsoft Excel	110
MS Exchange	111
MS FrontPage	113
MSOffice	114
MS Office ショートカット バー	117
MS OneNote	119
Microsoft Outlook	119
MS Outlook Express	123
MS NetMeeting	125
MSN Messenger	125
Microsoft PowerPoint	126
MS Project	128
MS Visio	130
MS Visual Studio	133
Netscape	135
Netware Client	137
Norton AntiVirus	137
Norton Ghost	138
Norton Internet Security	138
Norton Utilities NT	139
Paint Shop Pro	140
Palm Desktop	141
pcAnywhere	143
QuarkXpress	144
QuickView Plus	144
QuickBooks Pro	145
Quicken	146
RealOne Player	148
Siebel Sales, Personal Edition	148
System Mechanic	149
Timbuktu	149
Winamp	150
Windows Media Player	152

Windows Messenger	154
WinFax Pro	156
Winzip	157
WS_FTP Professional	159
Yahoo! メッセンジャ	160

第 1 章: スクリプトの参照

CA DMM ではスクリプトを使用してシステム設定およびアプリケーション設定をマイグレートします。

このマニュアルは、CA DMM で提供されるすべてのスクリプトのリファレンスです。このマニュアルは「システム スクリプト」と「アプリケーション スクリプト」の 2 つの章に分かれています。スクリプトごとに、以下のすべてまたは一部について説明します。

- スクリプトの名前
- リリース日
- 設定の説明
- 重要な注意事項
- マイグレーションパス
- 制限事項

第 2 章: システム スクリプト

この章のスクリプトはオペレーティング システムに適用されます。この章では、システム スクリプトに関する情報を参照できます。

デザイン

システム スクリプト

[デザイン] により、Microsoft のデスクトップの外観が管理されます。

リリース日

11/16/2006

設定の説明

デザイン スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [デザイン] オプションを使用すると、形状、サイズ、イメージ、フォント サイズなどのデスクトップ アイコンの外観がマイグレートされます。
- [デスクトップ アイコン] オプションを使用すると、マイ コンピュータ、マイ ドキュメント、マイ ネットワーク、Internet Explorer、ごみ箱などのデスクトップに表示されるアイコンのリストがマイグレートされます。
- [フォント] オプションを使用すると、外観に関連するフォントがマイグレートされます。
- [スキーム] オプションを使用すると、ボタンの外観とカラー スキームがマイグレートされます。
- [テーマ] オプションを使用すると、デスクトップのテーマがマイグレートされます。

注意事項

- アイコン サイズのマイグレーションにより、関連する視覚効果設定の一部もマイグレートされます。

- アイコンのドラッグのマイグレーションにより、関連する視覚効果設定の一部もマイグレートされます。
- ごみ箱のアイコンは、ごみ箱に最初に何かを追加または削除した時点で更新されます。
- 異なるオペレーティング システム間でのテーマのマイグレーションは、Windows Vista から Windows Vista 以降のバージョンへのマイグレートのみがサポートされています。
- マイグレーションの完了後、Windows 7 以降では [個人設定] ウィンドウがポップアップ表示されます。このウィンドウを閉じると、システムの使用を開始できます。

制限事項

以下の制限があります。

- [大きいアイコンを使用する] 設定は、[デザイン] タブのアイコン サイズに連結されています。
- 異なるオペレーティング システム間でのスキーム名のマイグレーションはサポートされていません。ただし、属性はマイグレートされます。
- Windows XP へのカスタム スキーム名のマイグレーションはサポートされていません。ただし、属性はマイグレートされます。
- 異なるオペレーティング システム間でのテーマのマイグレーションは、テーマがデフォルトの場所で利用可能な場合にのみサポートされます。テーマがカスタムの場所に保存されている場合、そのテーマはデータの一部としてデスティネーション コンピュータにマイグレートする必要があります。
- ソースでの設定がデフォルトである場合は、デスクトップ アイコン (マイ コンピュータ、マイ ネットワークなど) のチェック ボックスはマイグレートできません。
- デスクトップの [表示] および [並べ替え] 設定は、XP から Windows 8 以降にマイグレートできません。
- Aero テーマが有効でない場合、[コントロール パネル] - [デスクトップのカスタマイズ] - [個人設定] にある色の設定はマイグレートできません。

アイコンの整列

システム スクリプト

[アイコンの整列] により、デスクトップ アイコンの整列が管理されます。

リリース日

7/25/2005

設定の説明

このスクリプトにより、[アイコンの整列] オプションで使用可能な設定がマイグレートされます。このオプションを設定するには、デスクトップを右クリックして [アイコンの整列] (Vista では [表示] - [並べ替え]) を選択します。

注意事項

マイグレーションの開始前にソース システムを再起動する必要があります。

制限事項

- Windows XP から Windows Vista にマイグレートする場合、デスクトップ アイコンの並べ替えは Windows Vista にマイグレートできません。
- デスクトップを右クリックして [表示] を選択すると表示される、[アイコンの自動整列]、[デスクトップ アイコンの表示]、[大アイコン]、[中アイコン]、[小アイコン] は、複数ユーザ シナリオの新規ユーザでは、Windows Vista 以降のバージョンから Windows 8 以降にマイグレートできません。
- デスクトップを右クリックして [並べ替え] を選択すると表示される、[名前]、[サイズ]、[項目の種類]、[更新日時] は、複数ユーザ シナリオの新規ユーザでは、Windows Vista 以降のバージョンから Windows 8 以降にマイグレートできません。

背景

システム スクリプト

[背景] により、[画面のプロパティ] のデスクトップに表示される背景イメージの設定が管理されます。

リリース日

2006/10/19

設定の説明

背景スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [模様] オプションを使用すると、模様の設定がマイグレートされます。
- [壁紙] オプションを使用すると、デスクトップに表示される壁紙がマイグレートされます。
- [壁紙の位置] オプションを使用すると、中央に表示、並べて表示、拡大して表示などの壁紙の位置がマイグレートされます。

注意

Active Desktop がインストールされていない場合、JPEG 形式の背景イメージと Web コンテンツはマイグレートされません。

コマンドプロンプト

システム スクリプト

コマンドプロンプト（実行可能ファイル名：cmd.exe）は、Microsoft が提供するコマンドラインインタプリタです。OS/2、Windows CE、および Windows NT ベースのオペレーティングシステム（Windows 2000、XP、Vista、7、8、8.1、Server 2003、Server 2008、Server 2008 R2、Server 2012 など）で使用できます。コマンドプロンプトは、MS-DOS や Windows 9x システム（9x では MS-DOS プロンプトと呼びます）の COMMAND.COM、または Unix 系システムで使用される Unix シェルに似たものです。

リリース日

4/22/2004

設定の説明

このスクリプトにより、コマンドプロンプトウィンドウのプロパティがマイグレートされます。コマンドプロンプトウィンドウでは、GUI を使用せずに、DOS レベルのコマンドを入力できます。コマンドプロンプトの設定は、ウィンドウを右クリックし、[プロパティ] を選択して変更できます。マイグレートされる設定は、コマンドの履歴、カーソルのサイズ、表示オプション、編集オプション、フォント、レイアウト、画面の色です。

コマンドプロンプトの設定は、マイグレートするシステム設定の選択時に選択できます。

ダイヤルアップ

システム スクリプト

[ダイヤルアップ]により、Microsoft Windows ダイヤルアップ ネットワークの設定が管理されます。

リリース日

8/18/2006

設定の説明

ダイヤルアップスクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [TCP/IP 設定] を使用すると、ダイヤルアップ接続に関連する TCP/IP ネットワーク設定がマイグレートされます。
- [リモート管理サービスの設定] を使用すると、コンピュータが電話を受信し、発信者をネットワークに接続できるダイヤルアップ接続の設定がマイグレートされます。
- [電話帳] オプションを使用すると、ダイヤルアップの電話番号設定がマイグレートされます。この設定は、現在のユーザまたはすべてのユーザに対して選択できます。
- [電話帳] オプションの下の [現在のユーザ] オプションを使用すると、ユーザ固有のダイヤルアップの電話番号がマイグレートされます。
- [共通] オプションを使用すると、グローバルなダイヤルアップの電話番号設定がマイグレートされます。
- [通話カード] オプションを使用すると、保存されている通話カード情報がマイグレートされます。
- [場所] オプションを使用すると、保存されている国コードおよび郵便番号がマイグレートされます。

制限事項

以下の制限があります。

- 電話帳をデスティネーションに存在する電話帳と同じ名前でマイグレートすると、どちらかの電話帳の名前を変更するまで設定を変更できません。
- ダイヤルアップリモートネットワークサーバは、マイグレーション前に閉じます。ダイヤルアップネットワーク経由でデスティネーションコンピュータに接続している場合、マイグレーションを完了するための DNA ファイルを作成する必要があります。
- カスタムスクリプトファイルはマイグレートされません。ログインスクリプトを選択し直す必要があります。
- 電話帳設定にソースシステムのモデムが含まれている場合、デスティネーションシステムの適切なモデムを選択する必要があります。

- ダイヤルアップユーザ名、パスワード、およびドメイン設定はマイグレートできません。これらの設定は手動で再設定する必要があります。
- マイグレーションが完了したら、マイグレートされた接続はすべて元に戻せなくなります。
- デスティネーションシステムに古い国コードのセットがある場合は、国コードを再選択する必要があります。
- リモートネットワークサーバのパスワードが完全にマイグレートされなかった可能性があります。パスワードが無効なため、正しいパスワードを再入力する必要があります。
- インターネット接続ファイアウォールの設定はマイグレートできません。
- インターネット接続共有の設定はマイグレートできません。
- 通話カードの PIN は、プラットフォーム間でマイグレートできません。
- 設定をマイグレートする前に、ダイヤルアップネットワークとリモート管理サーバをインストールする必要があります。
- ユーザ設定はマイグレートされません。ダイヤルアップユーザの設定および権限を選択する必要があります。
- **Windows 2000 Advanced Server** の汎用パスワードの設定はマイグレートできません。汎用パスワードの設定を再選択する必要があります。
- 再起動後、新しいハードウェアに関するメッセージが表示されることがあります。その場合、**Windows** は新しいハードウェアの検出に失敗します。再起動後、デバイス マネージャから不明なデバイスを削除してください。

コンピューターの簡単操作センター

システム スクリプト

コンピューターの簡単操作センターを使用すると、Windows で利用可能なユーザー補助の設定およびプログラムを一箇所で変更することができます。

設定の説明

コンピューターの簡単操作センター スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます： [コンピューターを画面なしで使用します]、 [コンピューターを見やすくします]、 [マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します]、 [マウスを使いやすくします]、 [キーボードを使いやすくします]、 [サウンドの代わりにテキストまたは画像を使用します]、 [コンピューターでの作業に集中しやすくします]

注意事項

- 複数ユーザのシナリオで、マイグレーション中にあるユーザがソース上に存在しデスティネーション上に存在しない場合、そのユーザのマイグレートされた設定は、コンピュータを再起動してログオフした後に有効になります。
- マイグレーション後、マウスの設定は、デスティネーション コンピュータの [コントロールパネル] - [コンピューターの簡単操作] - [コンピューターの簡単操作センター] - [マウスを使いやすくします] で [OK] をクリックした後に有効になります。
- マイグレーションの完了後、以下の設定は、再起動して各ユーザがログオフした後に有効になります。
- [背景のイメージを削除します (利用可能な場合)] の設定（ [コントロールパネル] - [コンピューターの簡単操作] - [コンピューターの簡単操作センター] - [コンピューターを見やすくします] - [画面上の項目を見やすくします] ）は、最初のログオン後にログオフすると有効になります。つまり、マイグレーション後は、コンピュータからログオフして再ログオンする必要があります。
- 以下の場所にある [必要のないアニメーションは無効にします (可能な場合)] の設定：
- [コントロールパネル] - [コンピューターの簡単操作] - [コンピューターの簡単操作センター] - [コンピューターを画面なしで使用します] - [時間制限と明滅画像を調整します]

- [コントロールパネル] - [コンピューターの簡単操作] - [コンピューターの簡単操作センター] - [コンピューターを見やすくします] - [画面上の項目を見やすくします]
- [コントロールパネル] - [コンピューターの簡単操作] - [コンピューターの簡単操作センター] - [コンピューターでの作業に集中しやすくします] - [時間制限と明滅画像を調整します]
- [マウスポインターをウィンドウ上に合わせたときにウィンドウを選択します] の設定 ([コントロールパネル] - [コンピューターの簡単操作] - [コンピューターの簡単操作センター] - [マウスを使いやすくします] - [ウィンドウの管理を簡単にします])

制限事項

- パス [コントロールパネル] - [コンピューターの簡単操作] - [コンピューターの簡単操作センター] - [コンピューターを画面なしで使用します] - [テキストの音声変換をセットアップします] - [音声認識] - [ユーザー設定] にある [起動時に音声認識を実行する] 設定を、Windows 7 から Windows 8 以降にマイグレートすることはできません。

フォルダ オプション

システム スクリプト

[フォルダ オプション] により、ファイルのグループ、その他のフォルダ、またはその両方を格納しているファイルシステム内のコンピューティング エンティティ (ディレクトリ、カタログ、フォルダなど) が管理されます。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

フォルダ オプション スクリプトにより、コントロールパネルの [フォルダ オプション] のすべての設定がマイグレートされます。Windows Vista 以降では、Windows エクスプローラ内のお気に入りとライブラリもマイグレートできます。

注意事項

このスクリプトでは、ファイルタイプのマイグレーションはサポートされません。

制限事項

以下の制限があります。

- 前のバージョンから Windows Vista に [オフライン ファイル] オプションをマイグレートすることはできません。
- Windows 2000 から Windows Vista に一時オフライン ファイルのディスク容量オプションをマイグレートすることはできません。

一般

システム スクリプト

全般スクリプト（以前の Vista OS 設定）では、近くの人との接続、コンピュータの簡単操作、SideShow などの Windows Vista 固有の設定が管理されます。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

このスクリプトでは、以下の設定がマイグレートされます。

- 拡大鏡、ナレータ、スクリーン キーボード、SideShow、音声認識などに関連する簡単操作の設定
- プラグアンドプレイ デバイス関連の自動再生設定
- Windows ファイアウォール設定
- フォルダのインデックスと検索オプションに関連するインデックスおよび検索の設定
- ログインおよびセキュリティの設定を含む、近くの人との接続設定
- [Windows Defender] - [バックアップと復元] 設定は、Windows 7 以降でサポートされています。

注意事項

- 設定を適用するには、デスティネーションで iSCSI サービスが実行されている必要があります。
- Windows ファイアウォールの詳細設定はマイグレートされません。
- Windows 8 以降では、[近くの人との接続] 機能はサポートされていないため、マイグレーションに利用できません。
- [Windows Defender] 設定は、マイグレーションの開始前に、現在のユーザに送信元と送信先の両方のコンピュータに対する権限がある場合にのみマイグレートされます。現在のユーザへ権限を付与するには、[レジストリ] に移動し、[HKLM¥¥SOFTWARE¥¥Microsoft¥¥Windows Defender] を右クリックし、手順に従います。

制限事項

- パス [コントロール パネル] - [システムとセキュリティ] - [Windows ファイアウォール] - [許可されたアプリ] にある [許可されたアプリ および機能] 設定は、以下のシナリオではマイグレートされません。
 - 32 ビット Windows 8 から 64 ビット Windows 8。
 - 32 ビット Windows 8.1 から 64 ビット Windows 8.1。
- パス [コントロール パネル] - [システムとセキュリティ] - [コンピュータのバックアップ] にある ユーザ ファイルのバックアップまたはリストア設定は、以下のシナリオではマイグレートされません。
 - Windows 7 から Windows 8。
 - Windows 8 から Windows 8.1。
 - Windows 8.1 から Windows 8.1。

アイコン

システム スクリプト

アイコン

リリース日

4/22/2004

設定の説明

アイコン スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- スクリプトにより、[画面のプロパティ] コントロール パネルにある、[効果] タブの設定および [デザイン] タブのアイコン情報がマイグレートされます。 [デスクトップ アイコン] により、デスクトップに表示されるマイ ドキュメントやごみ箱などのシステム アイコンがマイグレートされます。
- マイグレートされるその他の設定： アイコンのサイズと間隔
- イメージによって、マイ コンピュータのアイコン、マイ ネットワークのアイコン、マイ ドキュメントのアイコン、ごみ箱のアイコン、およびデスクトップ クリーンアップ ウィザードを実行するかどうかをマイグレートされます。

設定の詳細度は以下のとおりです。

- アイコン
- デスクトップクリーンアップ ウィザード (Windows XP のみ)
- デスクトップアイコン (Windows XP のみ)

注意事項

- 自動整列の設定をマイグレートするには、マイグレーション前にシステムを再起動する必要があります。

制限事項

以下の制限があります。

- ごみ箱のアイコンは、ごみ箱に最初に何かを追加または削除した時点で更新されます。
- 自動整列の設定をマイグレートするには、マイグレーション前にシステムを再起動する必要があります。

IMESettings

システム スクリプト

IMESettings スクリプトにより、IME (Input Method Editor) の構成がマイグレートされます。IME は、コンピュータのユーザが標準のキーボードを使用して、日本語のような複雑な文字や記号を入力できるようにするプログラムです。

リリース日

2004/04/22

設定の説明

IMESettings スクリプトでは、以下の設定がサポートされます。

- 日本語入力システム
- 韓国語入力システム
- 共有設定
- 中国語 (簡体字) 入力システム
- 中国語 (繁体字) 入力システム (Array、Big5 Code、ChangJie、DaYi、New ChangJie、New Phonetic、Phonetic、Quick、および Unicode)。

マイグレーションの実行時に、Microsoft IME の次のチェック ボックスを選択できます。

- 日本語入力システムの設定
- 韓国語入力システムの設定
- 共有設定
- 中国語 (繁体字) 入力システムの設定
- 中国語 (繁体字) 入力システムの設定 (Array、Big5 Code、ChangJie、DaYi、New ChangJie、New Phonetic、Phonetic、Quick、Unicode)。

制限事項

以下の制限があります。

- MS PinYin、NeiMa、QuanPin、ShuangPin、ZhengMa の各ロケールでは、中国語 (簡体字) IME はマイグレートできません。

- [CAPS] および [KANA] ツールバー ボタンのマイグレーションはサポートしていません。
- Windows 2000 から Windows XP へ、カスタム テンプレートの色設定をマイグレートすることはできません。
- Windows 2000 または Windows XP へ、Chang Jie バージョン 5.02 の設定をマイグレートすることはできません。
- 辞書はアップグレードできません。
- ツールバーの最小化の設定はマイグレートできません。

Java

システム スクリプト

この Java スクリプトは、[Java] コントロールパネルの設定をマイグレートします。 [Java] コントロールパネルには、以下のタブがあります。

- 一般
- セキュリティ
- Java
- 更新
- 詳細設定

リリース日

03/31/2014

設定の説明

- [Java] コントロールパネルでは、以下の設定が許可されます。
- Java プラグインによって使用される一時ファイルの表示および削除
- ネットワーク上で Java アプリケーションを実行するための Java Web Start の表示および設定
- ネットワーク上でアプレットおよびアプリケーションの実行を安全に行うための、証明書の制御。
- 展開ルールセットの表示およびアクティブ化、および例外サイトリストの管理。
- Java プラグインで実行されるアプレットおよび Java Web Start で実行されるアプリケーション用のランタイムパラメータの設定。
- 常に最新の Java Runtime Environment (JRE) を使用するよう、ユーザーの Java プラットフォームのバージョンを更新するメカニズムの提供。
- デバッグおよびアプレット処理用のオプションの設定。

注意事項

- [更新] タブは、Java 7 以降でのみ使用できます。
- Java 設定のマイグレーションは、Java 6 以降でのみサポートされています。
- Java 設定のマイグレーションは、Windows 7 以降でのみサポートされています。

制限事項

- Java 6 以降からマイグレートする場合、パス [コントロールパネル] - [すべてのコントロールパネル項目] - [Java] - [詳細] タブ- [Java Plug-in] にある [次世代の Java Plug-in を有効にする] 設定はマイグレートされません。
- Java 6 から Java 7 にマイグレートする場合、パス [コントロールパネル] - [すべてのコントロールパネル項目] - [Java] - [詳細] タブ- [その他] にある [システムトレイに Java アイコンを配置] 設定はマイグレートされません。
- Java 7 からマイグレートする場合、パス [コントロールパネル] - [すべてのコントロールパネル項目] - [Java] - [更新] タブにある [更新プログラムを自動的に確認] 設定はマイグレートされません。

キーボード

システム スクリプト

キーボード

リリース日

2006/10/19

設定の説明

キーボード スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [キーボード] プロパティの [表示までの待ち時間]、[表示の間隔]、[カーソルの点滅速度] などの設定
- キーボード レイアウト、言語、および [詳細なキー設定] などの設定

注意

個々のロケールをマイグレートするには、そのロケールがデスティネーションシステムで利用可能である必要があります。

制限事項

キーボード スクリプトには以下の制限があります。

- [キーボード] プロパティの **LanguageBar** 設定をマイグレートするには、[地域の設定] オプションを選択します。

マウス

システム スクリプト

マウス

リリース日

11/02/2006

設定の説明

マウス スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [ボタンの構成]、[ダブルクリックの速度]、[クリックロック]、[速度]、[ポインタの軌跡を表示する]、[ホイール] の [スクロール] などの設定。これらの設定は、[マウス] プロパティに含まれています。
- マウス スキームとマウス スキームの [カスタマイズ] オプションでの変更。

注意事項

Windows 2000 の [マウス] オプションにある [ファイルおよびフォルダ] メニューの [シングルクリックで選択し、ダブルクリックで開く] オプション ボタンをマイグレートするには、[フォルダ オプション] オプションを選択します。

MUI

システム スクリプト

MUI は、Microsoft Windows マルチリンガル ユーザ インターフェース設定を表します。

リリース日

2006/08/18

設定の説明

MUI スクリプトにより、マルチリンガル ユーザ インターフェース設定がマイグレートされます。

注意

MUI 言語は、MUI 設定をマイグレートするソースとデスティネーションの両方にインストールする必要があります。

ネットワーク

システム スクリプト

ネットワーク スクリプトにより、Microsoft ネットワークの設定が管理されます。

リリース日

2006/8/18

設定の説明

ネットワーク スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [識別情報] オプションを使用すると、コンピュータ名とドメインまたはワークグループの情報がマイグレートされます。
- [アクセスの制御] オプションを使用すると、システム共有が単一の共有環境でパスワードによってセキュリティ保護するか、またはログオンできるユーザのリストでセキュリティ保護するかを指定できます。

- [プロトコルの設定] を使用すると、TCP/IPv4 の構成に関連する設定がマイグレートされます。
- [認証] オプションを使用すると、[認証] タブの設定がマイグレートされます。

注意

IP アドレスの競合を避けるため、マイグレーション後にソース システムをシャットダウンする必要があります。

ODBC

システム スクリプト

ODBC

設定の説明

ODBC スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- コントロールパネルの管理ツールに定義されている ODBC 設定。
- NT 系のシステム向けのツール ODBC スクリプトは、すべての一般的な設定とすべてのデータベース設定をサポートします。

[データ ソース (ODBC)] 設定は、マイグレートするシステム設定の選択時に選択できます。

制限事項

以下の制限があります。

- データベースの設定は、デスティネーションにデータベース ドライバ (dll) が存在する場合のみマイグレートされます。
- データベースの設定をマイグレートするために特定のドライバをインストールする必要がある場合は、デスティネーションのイベントログにメッセージが書き込まれます。
- Windows XP システムで Microsoft Visual FoxPro のドライバを使用して新しいデータベースをセットアップする場合、ドライバを Microsoft の Web サイトから取得できる最新バージョンにアップグレードする必要があります。

オフライン ファイル

システム スクリプト

オフライン ファイル

リリース日

04/29/2013

設定の説明

このスクリプトにより、オフライン ファイルの設定がマイグレートされます。

- オフライン ファイルの設定は、[コントロール パネル] - [すべてのコントロール パネル項目] - [同期センター] - [オフライン ファイルの管理] から選択できます。[全般]、[ディスク使用量]、[暗号化]、および [ネットワーク] タブの設定をマイグレートできます。
- オフライン ファイルの設定は、マイグレートするシステム設定の選択時に選択できます。

注意事項

- 以前は、オフライン ファイルの設定はフォルダ オプション設定に含まれていました。Windows Vista 以降から、これらの設定は、[コントロール パネル] - [すべてのコントロール パネル項目] - [同期センター] - [オフライン ファイルの管理] に移動されました。そのため、Windows Vista 以降のシステム設定には、オフライン ファイルの設定をマイグレートするための新しいノードが表示されます。

制限事項

以下の制限があります。

- [ディスク使用量] の設定（[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [同期センター] - [オフライン ファイルの管理]）は、Windows Vista から以降のバージョンにマイグレートできません。

プリンタ

システム スクリプト

プリンタ スクリプトにより、Microsoft Windows にインストールされているすべてのプリンタとそれらの設定が管理されます。

リリース日

07/30/2007

設定の説明

プリンタ スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [ローカル プリンタ] オプションに、コンピュータで使用可能なすべてのローカルプリンタが表示され、マイグレートされます。
- [ネットワーク プリンタ] オプションに、選択したユーザが使用可能なすべてのネットワーク プリンタが表示され、マイグレートされます。

[プリンタ] は、マイグレートするシステム設定の選択時に、[システム設定] ツリーの [デスクトップの設定] ブランチで選択できます。

注意事項

- プリンタ設定のマイグレート後に、ソースで設定されているデフォルトプリンタがデスティネーションのデフォルトプリンタに設定されない場合があります。その場合は、デスティネーションのデフォルトプリンタを手動で設定する必要があります。

制限事項

以下の制限があります。

- プリンタ ポートがネットワーク パスにマップされている場合は、デスティネーションシステムでネットワーク パスを再度マップする必要があります。
- マイグレーションの完了後は、スケジュール設定が変更されている場合があるので、設定し直す必要があります。
- LPR プリンタをデスティネーション システムで正常に動作させるには、適切なネットワーク DLC プロトコルをインストールする必要があります。

- プリンタのドライバが **Windows** にバンドルされていない場合、マイグレーション前にそのドライバをデスティネーションにインストールしておく必要があります。
- プリンタをマイグレートするには、ユーザは少なくともパワー ユーザアクセス権限を持っている必要があります。

クイック起動ツールバー

システム スクリプト

クイック起動ショートカットには、アプリケーションのショートカットが含まれています。この領域をクリックすることで、アプリケーションが起動されます。

リリース日

12/18/2006

設定の説明

クイック起動ショートカット スクリプトにより、クイック起動ショートカットのアイコンがマイグレートされ、クイック起動ショートカットを有効化/無効化します。

注意事項

- マイグレーションを開始する前に、ソース システムを再起動する必要があります。
- ショートカットのターゲットが存在しないか、ソース コンピュータのショートカットのターゲットと異なる場合、クイック起動のショートカットは動作しません。
- クイック起動ショートカットは、Windows 7 のデフォルトのツールバー リストから削除されています。ただし、下位互換性を維持するために、Windows 7 にはクイック起動フォルダが存在します。詳細については、リンク <http://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa511448.aspx> を参照してください。

クイック起動ショートカットをタスクバーに追加するには、タスクバーを右クリックして[ツールバー]を選択し、コンテキストメニューから[新規ツールバー]を選択します。次に、[フォルダ]フィールドに「%AppData%\Microsoft\Internet Explorer\Quick Launch」と入力します。この手順により、クイック起動ショートカットがリストアされます。

地域

システム スクリプト

地域の設定は、コンピュータでの数値、通貨、日付、および時刻の表示方法を変更するために使用されます。

リリース日

2006/11/27

設定の説明

地域スクリプトにより、[地域と言語のオプション]にある数値、通貨、時刻、日付、地域、入力言語がマイグレートされます。

注意

個々のロケールをマイグレートするには、そのロケールがデスティネーションシステムで利用可能である必要があります。

制限事項

地域スクリプトには以下の制限があります。

- [補足言語サポート] 設定および [コード ページ変換テーブル] の設定はマイグレートされません。

リモート デスクトップ接続

システム スクリプト

リモート デスクトップは、ネットワークまたはインターネット上の 2 台のコンピュータを接続します。接続を確立すると、リモート コンピュータのデスクトップを表示して、すべてのプログラムおよびファイルにアクセスできます。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

リモート デスクトップ接続スクリプトにより、[リモート デスクトップ接続] ウィンドウで利用可能なすべてのオプションがマイグレートされます。これらのオプションには、[ログオン設定]、[接続設定]、[画面の設定]、[画面の色]、[リモート オーディオ]、[キーボード]、[ローカル デバイスとリソース]、[プログラムの起動]、[パフォーマンス]、[サーバー認証]、[任意の場所から接続する] などがあります。

注意事項

任意のより古い OS から Windows 8 以降にマイグレートする場合、パフォーマンス設定はデフォルトでパス [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [リモート デスクトップ接続] - [エクスペリエンス] にある [接続品質の自動検出] になります。

スクリーン セーバ

システム スクリプト

Windows デスクトップ スクリーン セーバは、コンピュータのアイドル状態が事前に指定された時間だけ継続すると自動的に表示されるアニメーション ピクチャまたはパターンです。

リリース日

11/15/2006

設定の説明

ScreenSaver スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [現在のスクリーンセーバ] オプションを使用すると、現在選択されているスクリーンセーバがマイグレートされます。
- [省電力オプション] を使用すると、表示の明るさおよび電源設定を調整してコンピュータのパフォーマンスを最大にするためのすべての電源設定がマイグレートされます。
- [パスワード] オプションを使用すると、スクリーンセーバのパスワードがマイグレートされます。
- [待ち時間] オプションを使用すると、スクリーンセーバを設定するための事前に指定された時間がマイグレートされます。

注意事項

- APM 設定のマイグレーションはサポートされていません。
- UPS 設定のマイグレーションはサポートされていません。
- Windows の異なるバージョン間でのカスタムの省電力設定のマイグレーションはサポートされていません。
- リアルタイムマイグレーションを使用して、64 ビットオペレーティングシステムから別の 64 ビットオペレーティングシステムへのマイグレーションを実行する場合は、カスタムのスクリーンセーバファイルはマイグレーション先のコンピュータに手動でコピーしてください。

制限事項

以下の制限があります。

- ソースコンピュータの現在のスクリーンセーバファイルは、デスティネーションコンピュータでは上書きできません。
- [スクリーンセーバー] - [電源設定の変更] はマイグレートできません。

送る

システム スクリプト

[送る] はデスクトップの設定です。

リリース日

2005/6/27

設定の説明

「送る」スクリプトにより、SendTo フォルダの内容がマイグレートされます。

共有ポイント

システム スクリプト

[共有ポイント] により、ファイル選択ツリーを使用して移動する必要があるフォルダまたはそのコンテンツを含まないフォルダの共有ポイントがマイグレートされます。

リリース日

2006/08/21

設定の説明

共有ポイント スクリプトにより、フォルダ用に作成された共有ポイントがマイグレートされます。

注意

- 共有フォルダは、手動でソース システムからデスティネーション システムに移動する必要があります。
- 共有ポイントをドメインが異なるコンピュータにマイグレートする場合は、権限を再設定する必要がある場合があります。

制限事項

共有ポイント スクリプトには以下の制限があります。

- Windows 2000 システムからの権限のマイグレーションはサポートされていません。権限は再設定する必要があります。

サイドバー

システム スクリプト

サイドバーでは、サイドバー用の Windows Vista 固有のデスクトップ設定が管理されます。

リリース日

2008/07/25

設定の説明

このスクリプトを使用すると、位置、ガジェット、表示などのサイドバー設定がマイグレートされます。このスクリプトは、Windows Vista デスクトップにのみ適用できます。

サウンド

システム スクリプト

[サウンド] により、サウンドの設定が管理されます。

リリース日

7/25/2005

設定の説明

サウンドスクリプトにより、サウンドに関連する設定がマイグレートされます。サウンドの設定は、コントロールパネルの [サウンド] オプションで設定します。

注意事項

- スキームのみがデスティネーションにマイグレートされます。
- Windows Vista では、サウンドファイルの名前が表示されない場合は、マイグレーション後に、フォルダ オプションのオプションを変更して、登録されているファイルタイプの拡張子を表示します（[登録されている拡張子は表示しない] オプションをオンにします）。
- サウンドをマイグレートする場合、イベント ログにアクセス拒否のエラーが表示されます。このエラーはマイグレーションに影響しません。

タスクバー

システム スクリプト

[タスクバー] はデスクトップの設定です。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

タスクバー スクリプトにより、[タスクバー] プロパティの [タスクバー]、[[スタート] メニュー]、[タスク バーにこのプログラムを表示する]、[通知領域] などの設定がマイグレートされます。

注意事項

- ソース コンピュータを再起動してタスクバーの設定に加えた変更を保存してから、マイグレーションを開始する必要があります。
- [スタート] メニューのアプリケーション部分はマイグレートされません。ただし、スタートメニューにブラウザおよび電子メールのアプリケーションを表示する設定のマイグレーションはサポートされません。
- タスクバーの [アドレス]、[リンク]、および [クイック起動] の各ツールバー設定は、マイグレートされません。
- タスクバーに表示された項目については、ソースマシンとデスティネーションマシンの両方で同じ実行可能ファイル名を持つアプリケーションのみがマイグレートされます。
- スタンドアロンアプリケーションの実行可能ファイルをタスクバーに表示している場合、対応する項目はマイグレートされません。

制限事項

以下の制限があります。

- [通知領域] の [アクティブでないインジケータを隠す] のカスタマイズはマイグレートできません。
- タスクバーに表示されている項目をマイグレートするには、マイグレーション前に、対応するアプリケーションがデスティネーションにインストールされている必要があります。
- [タスクバーに表示する] 操作は、DMM の [元に戻す] 機能を使用して元に戻すことができません。

タイムゾーン

システム スクリプト

[タイムゾーン] は、オペレーティング システムのタイムゾーンの設定を表します。

リリース日

2006/10/12

設定の説明

タイムゾーンスクリプトにより、Vista で使用可能な追加のクロック設定を含むシステムのすべてのタイムゾーンの設定がマイグレートされます。

注意

システムの日付と時刻のマイグレーションは、このスクリプトには含まれません。

ユーザ アカウント

システム スクリプト

ユーザ アカウント

設定の説明

このスクリプトは、コンピュータがドメインに接続されていない場合に、ログイン画面で Windows XP ユーザが外観を設定するのをサポートします。次の設定が含まれます。ユーザに関連付けられた、ログイン時に表示されるグラフィック。ユーザとログイン ウィンドウの種類 (Windows クラシックまたは Windows XP) をすばやく切り替えることができます。ユーザのグラフィック ファイルがマイグレートされます。

制限事項

以下の制限があります。

- デスティネーションが Windows 7 コンピュータの場合、非ドメインユーザのユーザ アカウント画像はマイグレートできません。

Web 設定

システム スクリプト

Active Desktop の [Web 設定] を使用すると、ユーザはデスクトップを Web ページとして使用できます。そのため、インターネットからコンテンツを取得してデスクトップに表示できるようになります。

リリース日

2006/11/16

設定の説明

Web 設定スクリプトにより、Active Desktop の設定がマイグレートされます。

注意

- セキュリティ情報のマイグレーションはサポートされていません。
- JPEG 形式での背景イメージおよび Web コンテンツは、Active Desktop がインストールされている場合にのみマイグレートされます。

制限事項

以下の制限があります。

- デスクトップ項目の Web ページのパスワードはマイグレートできません。パスワードは手動で再設定する必要があります。
- ユーザ名およびドメインが異なる場合、Web スケジュール設定をマイグレートすることはできません。
- Active Desktop のマイグレーションを元に戻す操作はサポートされません。

ワイヤレス

システム スクリプト

ワイヤレス ネットワークは、キャリア（物理層）として無線を使用する通信またはコンピュータ ネットワークです。

リリース日

12/14/2006

設定の説明

すべてのワイヤレス アダプタの設定と AccessPoint の設定がマイグレートされます。

注意事項

- AccessPoint の認証をマイグレートするには、[ネットワーク] の下の [認証] オプションを使用します。
- マイグレーションは、カードの種類がソースとデスティネーションの両方で同じ場合にのみ正常に行われます。
- ドライバ設定のマイグレーションは、ソースの設定がデフォルトでデスティネーションの設定がデフォルト以外の場合は失敗します。
- [この接続は次の項目を使用します] の設定は、ワイヤレス オプションを使用してマイグレートされません。
- ファイアウォールの設定はマイグレートされません。
- Windows ワイヤレス エージェントのみがサポートされています。
- Windows XP でワイヤレス設定を元に戻す操作を行うには、先にワイヤレス ゼロ構成サービスを停止する必要があります。
- Windows Vista でワイヤレス設定を元に戻す操作を行うには、先に WLAN 自動構成サービスを停止する必要があります。

制限事項

以下の制限があります。

- Windows Vista では、ワイヤレス ネットワークのプロパティを元に戻すことはできません。

- ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティの [共有] タブにある以下の設定はマイグレートされません。
 - ネットワークのほかのユーザーに、このコンピュータのインターネット接続をとおしての接続を許可する
 - [ネットワークのほかのユーザーに、このコンピュータのインターネット接続をとおしての接続を許可する] 選択時の設定およびサービス。
- [WINS] タブ ([コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレス ネットワークの管理] - [アダプタのプロパティ] - [ワイヤレス ネットワーク接続] のプロパティ - [ネットワーク] - [インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] のプロパティ - [全般] - [詳細設定] - [TCP/IP 詳細設定]) 以下のワイヤレス設定はマイグレートできません。

第 3 章: アプリケーション スクリプト

この章のスクリプトはアプリケーションに適用されます。

ACT!

アプリケーションスクリプト

ACT!

リリース日

2002/04/22

設定の説明

以下の設定を含むほとんどの設定をサポートしています。

- ユーザ情報
- パスワード
- ファイルタイプ
- レイアウト設定
- データベース名
- 電子メール設定
- マクロ名

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4 から 4
- バージョン 4 から 2000
- バージョン 2000 から 2000

制限事項

以下の制限があります。

- 4.0 のツールバーのマイグレーションはサポートしていません。
- 4.0 のメニュー変更のマイグレーションはサポートしていません。

Acrobat

アプリケーション スクリプト

Adobe Acrobat

リリース日

2002/11/15

設定の説明

すべての設定のマイグレーションをサポートしています。マイグレートするアイテムの選択時に、サポートしているすべての Adobe Acrobat の設定を選択できます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 3.01 から 3.01
- バージョン 4.0 から 4.0

制限事項

以下の制限があります。

- Web Capture と Weblink の設定はマイグレートできません。
- Distiller と PDF Writer は、プリンタのマイグレーションを選択するとマイグレートできます。
- アプリケーションを新しいディレクトリにマイグレートすると、アンインストールは機能しません。
- Adobe Acrobat の新しいバージョンに Adobe フォントフォルダおよび監視フォルダ リストをマイグレートすることはできません。
- Adobe Acrobat の設定をバージョン 3.01 から 4.0 にマイグレートする場合、設定の約 10%がマイグレーションされます。

Adobe Acrobat Reader

アプリケーションスクリプト

Adobe Acrobat Reader は PDF ドキュメントリーダーです。

リリース日

08/01/2007

設定の説明

このスクリプトには、Adobe Acrobat Reader のすべての設定が含まれます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4.0 から 4.0
- バージョン 4.0 から 5.0
- バージョン 4.0 から 6.0
- バージョン 4.0 から 7.0
- バージョン 4.0 から 8.0
- バージョン 5.0 から 5.0
- バージョン 5.0 から 6.0
- バージョン 5.0 から 7.0
- バージョン 5.0 から 8.0
- バージョン 6.0 から 6.0
- バージョン 6.0 から 7.0
- バージョン 6.0 から 8.0
- バージョン 7.0 から 7.0
- バージョン 7.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 10.0

- バージョン 10.0 から 10.0

注意事項

- [My Digital Editions] または [My BookShelves] に追加されたファイルをマイグレートするには、ファイル ツリーからファイルを選択するか、*.pdf ファイルのフィルタを作成します。
- マルチメディア オプションのマルチメディア プレーヤの優先順位の設定をマイグレートするには、必要なプレーヤを宛先にインストールする必要があります。
- デジタル ID ファイル メカニズムを使用して作成されたデジタル ID ファイルの設定とデジタル ID は、ソースと宛先のバージョンが同じでユーザ プロファイルに固有である場合にマイグレートされます。ただし、デジタル ID ファイルはマイグレートされません。*.pfx ファイルのフィルタを使用してマイグレートする必要があります。

アプリケーションの制限

以下の設定は、アプリケーションの制限のためマイグレートできません。

- [編集] - [環境設定] - [フォーム] - [Automatically calculate Field Values] パスの設定がオフの場合、5.0 から 5.0、6.0、7.0、および 6.0 から 6.0、7.0、7.0 から 7.0、および以前のすべてのバージョンから 8.0 へのマイグレーションで、その設定は保持されません。
- [編集] - [環境設定] - [セキュリティ] - [Advanced preferences] - [Windows Integration] - [Validating signatures] の設定がオフの場合、7.0 から 7.0 へのマイグレーションで、その設定は保持されません。
- [編集] - [環境設定] - [Trust Manager] の設定で、6.0 から 6.0、7.0、および 7.0 から 7.0 へのマイグレーションでは、選択したマルチメディア プレーヤを実行する許可を変更することはできません。
- [表示] - [Task Buttons] - [Digital Editions] および [Show all Task Buttons] の設定は、7.0 から 7.0 へのマイグレーションで、両方一緒にオンまたはオフになります。
- [編集] - [環境設定] - [International] - [Application Language] の設定ではデフォルトで英語が選択され、7.0 から 7.0 へのマイグレーションで、変更された値は保持されません。
- [編集] - [環境設定] - [Display] - [Application Language] の設定ではデフォルトで英語が選択され、5.0 から 5.0、6.0、7.0 へのマイグレーションで、変更された値は保持されません。

- [ツールバーの表示/非表示] の設定は機能していませんが、5.0 から 6.0、7.0、および 6.0 から 6.0 へのアップグレードグレードは正常に機能します。
- [表示] - [Task Buttons] - [ebooks] および [Show all Task Buttons] の設定は、6.0 から 6.0、7.0 へのマイグレーションで、両方一緒にオンまたはオフになります。
- [編集] - [環境設定] - [Trust Manager] の設定で、6.0 から 6.0、7.0、および 7.0 から 7.0 へのマイグレーションでは、信頼できるドキュメントに対する許可を変更することはできません。
- [編集] - [環境設定] - [Startup] - [Application Language] の設定ではデフォルトで英語が選択され、6.0 から 6.0、7.0 へのマイグレーションで、変更された値は保持されません。
- [編集] - [環境設定] - [Digital Signatures] - [Advanced Preferences] - [Windows Integration] - [Validating Signatures] の設定がオフの場合、6.0 から 6.0、7.0 へのマイグレーションで、その設定は保持されません。
- [編集] - [環境設定] - [全画面] - [Ignore all transitions] の設定がオンの場合、6.0 から 6.0、7.0 へのマイグレーションで、その設定は保持されません。
- [編集] - [環境設定] - [フォーム] - [Highlight Color] の設定は 5.0 から 8.0 にマイグレートできません。
- [編集] - [環境設定] - [Page Display] - [Page Layout] マッピングの設定は、6.0 から 8.0、および 7.0 から 8.0 へのマイグレーション中に変更されることがあります。
- [編集] - [環境設定] - [Reviewing] - [Show Review Tracker Alerts] の設定は 8.0 から 8.0 にマイグレートできません。

スクリプトの制限：

以下の Acrobat 設定はマイグレートできません。

- [Display PDF Browser] (4.0 から 4.0、すべてのバージョンから 5.0、すべてのバージョンから 6.0、すべてのバージョンから 7.0、すべてのバージョンから 8.0 へのマイグレーション)
- [Certified Plug-ins] (4.0 から 4.0、すべてのバージョンから 5.0、すべてのバージョンから 6.0、すべてのバージョンから 7.0、5.0 から 8.0 へのマイグレーション)
- [ファイル] - [Adobe Online] - [環境設定] の設定は、4.0 から 4.0、5.0、6.0、7.0 にマイグレートされません。

- [Highlight Form fields] (5.0 から 7.0 へのマイグレーション)
- [Digital ID File] の設定は、6.0 から 7.0 にマイグレートされません。
- [My BookShelf] から [My Digital Editions] (6.0 から 7.0 へのマイグレーション)
- 外観リストがソースでは空で宛先には存在するような特定の場合に、デジタルシグネチャの外観を元に戻す操作は実行できません。これは、6.0 から 6.0、および 7.0 から 7.0 にはマイグレートできません。
- アプリケーションのウィンドウ サイズと位置は、以前のすべてのバージョンから 8.0 へはマイグレートされないことがあります。

Adobe Illustrator

アプリケーションスクリプト

Adobe Illustrator

リリース日

2002/04/23

設定の説明

Adobe Illustrator スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- 全般的な設定
- タイプおよびオートトレース
- キーボードによる増分 (7.0)
- 単位とアンドゥ
- ガイドとグリッド
- ハイフネーション オプション
- プラグインとスクラッチ ディスク
- ファイルとクリップボード
- ワークグループ (10.0)
- オンライン設定
- スマートガイド
- 型

- ビューおよびウィンドウ

異なるバージョン間ではマイグレートできません。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 7.0 から 7.0
- バージョン 7.0 から 9.0
- バージョン 7.0 から 10.0
- バージョン 9.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 10.0
- バージョン 10.0 から 10.0

制限事項

以下の制限があります。

- デスティネーション コンピュータのアプリケーションディレクトリがソースと異なる場合、プラグインの設定のマイグレーションは行われません。
- Adobe Online の設定はマイグレートできません。
- 7.01 では、[Document Setup] の設定はマイグレートされません。

Adobe InDesign

アプリケーションスクリプト

Adobe InDesign は、デスクトップパブリッシング（DTP）ソフトウェアです。

リリース日

06/28/2000

設定の説明

このスクリプトには、Adobe InDesign のすべての設定が含まれます。

マイグレーションパス

- バージョン 1.0 から 1.0
- バージョン 1.0 から 1.5
- バージョン 1.0 から 2.0
- バージョン 1.5 から 1.5
- バージョン 1.5 から 2.0
- バージョン 2.0 から 2.0

注意事項

- システム構成によっては、ツールバーの配置がデフォルトロケーションに戻る場合があります。
- Windows の異なるバージョン間での辞書言語のマイグレーションはサポートされていません。

制限事項

以下の制限があります。

- Adobe Online の設定はマイグレートできません。
- 異なるバージョン間でのマイグレーションはサポートされていません。

Adobe PageMaker

アプリケーション スクリプト

Adobe PageMaker

リリース日

2002/04/23

設定の説明

このスクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- アプリケーション
- Cross-Platform コンバータ
- Publisher Converter
- QuarkXpress コンバータ
- バージョン 3 コンバータ

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 6.5 から 6.5
- バージョン 6.5 から 6.5.2
- バージョン 6.5.2 から 6.5.2

制限事項

以下の制限があります。

- ソースとデスティネーションのモニタの解像度が異なる場合、ツールバーの位置が変わる可能性があります。
- 場合によっては、アンインストール機能がマイグレートされない可能性があります。
- Pagemaker のターゲットプリンタのマイグレーションはサポートしていません。対象プリンタをロードする場合は、Pagemaker の指示に従ってください。
- フォントの選択項目はマイグレートされません。

Adobe PageMill

アプリケーション スクリプト

Adobe PageMill

リリース日

2002/06/10

設定の説明

Adobe PageMill スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- 最近使ったファイルリスト
- すべての環境設定
- ビューおよびペーストボードの設定

マイグレーションパス

- バージョン 3 から 3

制限事項

対応するアプリケーションがデスティネーションコンピュータにインストールされていない場合は、[Switch to Apps] の設定が失われる可能性があります。

Adobe PhotoShop

アプリケーション スクリプト

Adobe PhotoShop

リリース日

2002/04/29

設定の説明

Adobe Photoshop スクリプトにより、次の設定がマイグレートされます。

- インポート
- 自動処理
- ドロップレットの作成
- コンタクトシート
- マルチページ PDF から PSD
- ピクチャ パッケージ
- Web フォト ギャラリー
- 色設定
- 環境設定
- ページおよび Windows の設定

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4 から 4
- バージョン 5 から 5
- バージョン 5.5 から 5.5
- バージョン 6 から 6

制限事項

以下の制限があります。

- Adobe Online の一部の設定のマイグレーションはサポートしていません。
- ソースとデスティネーションのモニタの解像度が異なる場合、ツールバーの位置が変わる可能性があります。

Windows 2000 から Windows 2000 または Windows XP にマイグレートされない 5.0 の設定は以下のとおりです。

- 補間とオプション、ペイントカーソル、カスタマイズ/幅、ガイドの色とスタイル、メモリとイメージキャッシュ

Windows 2000 または Windows XP からマイグレートされない 4.01 の設定は以下のとおりです。

- 全般的な設定、表示とカーソル、透明度と色空間、単位とルーラ、プラグインの設定、CMYK セットアップの設定
- アプリケーションをマイグレートするときは、プラグインディレクトリのパスを再設定する必要があります。[Edit]-[Preferences]-[Plug-Ins] を選択し、[Additional Plug-ins] ボックスをオンにしてください。

Adobe Type Manager

アプリケーションスクリプト

Adobe Type Manager

リリース日

2002/03/18

設定の説明

Adobe Type Manager スクリプトにより、制限事項に記載されている設定を除き、プログラムのすべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 4 から 4

制限事項

Adobe Type Manager スクリプトには以下の制限があります。

- カスタムフォントセット、アクティブでないフォントの設定はマイグレートされません。

America Online

アプリケーションスクリプト

America Online (AOL) は、インターネットと、ニュースやエンターテインメントなどの特別な AOL コンテンツにアクセスできるようにする通信サービスです。

リリース日

2002/07/09

設定の説明

America Online スクリプトには、以下の設定が含まれます。

- [Settings] オプションには、America Online のすべての設定が含まれます。
- [File Cabinet] オプションを使用すると、America Online のすべてのキャビネットファイルがマイグレートされます。
- [My Calendar] オプションを使用すると、カレンダーがマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 7.0 から 7.0

注意

- カスタムダウンロードパスはマイグレートできません。
- パスワードはマイグレートされません。AOL では、最初の起動時にパスワードの再入力が必要です。
- AOL アプリケーション設定がオンになっていることを確認してください。ファイルキャビネットがロックされている場合は、AOL 設定を行わない限りファイルキャビネットは永久にロックされます。
- ファイルキャビネットがパスワードで保護されている場合は、初めてファイルキャビネットにアクセスするときにパスワードを再入力し、AOL を再起動する必要があります。

AOL Instant Messenger

アプリケーションスクリプト

AOL Instant Messenger は、インスタント メッセージング クライアントです。

リリース日

2005/08/16

設定の説明

AOL Instant Messenger スクリプトにより、すべての一般的な設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 5.0 から 5.0
- バージョン 5.0 から 5.1
- バージョン 5.0 から 5.2
- バージョン 5.0 から 5.5
- バージョン 5.0 から 5.9
- バージョン 5.1 から 5.1
- バージョン 5.1 から 5.2
- バージョン 5.1 から 5.5
- バージョン 5.1 から 5.9
- バージョン 5.2 から 5.2
- バージョン 5.2 から 5.5
- バージョン 5.2 から 5.9
- バージョン 5.5 から 5.5
- バージョン 5.5 から 5.9
- バージョン 5.9 から 5.9

Notes

- サーバに格納されている設定は、スクリプトを使用してマイグレートされません。サーバには設定に加えられた最新の変更が格納されています。この変更は、クライアントからサーバに接続すると使用できません。
- ソースからデスティネーションへのマイグレーション前に、AOL Instant Messenger からサインアウトして終了しておく必要があります。
- マイグレーション後にコンピュータを再起動する必要があります。
- [My AIM] - [Edit Options] - [Edit Preferences] - [Live video] - [Video/Audio Tuning] の設定は、システム サウンドに関連しています。この設定は、システム サウンドスクリプトを使用してマイグレートする必要があります。
- [My AIM] - [Save Buddy List] で連絡先リストを保存できます。このリストは、*.blt ファイルのフィルタ オプションを使用してマイグレートできます。
- リストはアドイン マネージャに対してマイグレートされますが、デスティネーションにアドインをインストールする必要があります。

制限事項

以下の制限があります。

- [My AIM] - [Edit Options] - [Edit Preferences] - [Stock Ticker] - [Edit Stocks] - [Symbols] - [Edit Alerts for AOL] の 2 つのチェック ボックスは、5.2 から 5.5 にマイグレートできません。
- [My AIM] - [Edit Options] - [Edit Preferences] - [Security] のスクリプトでは、証明書は処理されません。

Backup Exec Desktop Pro

アプリケーション スクリプト

Backup Exec Desktop Pro

リリース日

2001/07/06

設定の説明

Backup Exec Desktop スクリプトにより、すべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 4.5 から 4.5

BlackBerry

アプリケーション スクリプト

BlackBerry Desktop

リリース日

2002/04/23

設定の説明

すべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 1.6 から 1.6

BrightStor ARCserve Backup for Laptops and Desktops

アプリケーションスクリプト

BrightStor ARCserve Backup for Laptops and Desktops はデータのバックアップを作成するためのアプリケーションです。

リリース日

2005/04/06

設定の説明

BrightStor ARCserve Backup for Laptops and Desktops のすべての設定をマイグレートします。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4.0 から 4.0
- バージョン 4.0 から 11.0
- バージョン 4.0 から 11.1
- バージョン 11.0 から 11.0
- バージョン 11.0 から 11.1
- バージョン 11.1 から 11.1

注意

- マイグレーションが実行されているときに、クライアントが実行されていないことを確認します。
- ソースおよびデスティネーションでのインストールの種類が同じであることを確認します。つまり、どちらもカスタムであるか、どちらも標準である必要があります。
- ユーザは、ソースのバックアップセットに関連するファイルとフォルダを、デスティネーションにマイグレートする必要があります。存在しない場合はフィルタ オプションを使用します。

- ユーザデータは、デスティネーション上のソースと同じ場所には移動されません。マイグレーションの完了後、[構成] - [ローカル構成] - [ユーザデータの移動] を使用してユーザデータを新しい場所に移動できます。
- ソースで選択されているドライブが除外オプションに対するデスティネーションに存在しない場合、これらのドライブはデスティネーションでは表示されません。

制限事項

以下の制限があります。

- サーバ接続に関連する設定はマイグレートできません。詳細を手動で入力する必要があります。
- 4.0 の標準設定は、現在は 11.0 および 11.1 のカスタム設定に関連付けられているため、11.0 および 11.1 の標準設定ではなくカスタム設定にマイグレートされます。
- [リストア場所] のパスは、デスティネーションの新しいパスにはマップされません。

Conversion Plus

アプリケーションスクリプト

Conversion Plus は、Mac OS などのファイルを使用可能なフォーマットに変換します。

リリース日

2001/05/11

設定の説明

このスクリプトには、Conversion Plus のすべての設定が含まれます。

マイグレーションパス

- バージョン 6.0 から 6.0

注意

- Conversion Plus for Outlook を使用する前に、Outlook が宛先コンピュータにインストールされていることを確認してください。
- マイグレーションを実行する前に、Conversion Plus を 1 回以上実行しておく必要があります。

制限事項

- ソース コンピュータで使用するよう設定されていても宛先コンピュータに存在しないフォルダはマイグレートされません。

CorelCENTRAL

アプリケーション スクリプト

CorelCENTRAL

リリース日

2002/12/23

設定の説明

このスクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- アドレス帳
- アラーム
- カレンダ
- Card File
- Day Planner
- メール
- メモ

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 8.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 9.0
- バージョン 8.0 から 10.0
- バージョン 9.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 10.0
- バージョン 10.0 から 10.0

制限事項

以下の制限があります。

- メールファイルは、[アプリケーションと設定の選択] ページで.CMSドキュメント拡張子を選択した場合、またはフィルタを作成した場合のみマイグレートされます。

- マイグレーション時に CorelCENTRAL Calendar を起動していた場合、マイグレーションの前にソース コンピュータを再起動する必要があります。
- CorelCENTRAL 8.0 Mail の設定を移動するには、Netscape Mail をマイグレートする必要があります。
- CorelCENTRAL Mail を起動する前に、メールボックス ファイルのパスを更新する必要があります。
この設定を行うには、以下の手順に従います。
 1. CorelCENTRAL Profile Manager を起動します。
 2. アカウントを選択し、[Properties] を選択します。
 3. [Storage] タブに切り替えます。
 4. [Change] を選択し、メールボックスの新しい場所を参照します。
- CorelCENTRAL 8.0 Address Book、Calendar および Card File は、新しいバージョンにマイグレートされません。
- CorelCENTRAL 9.0 Calendar は、[File] - [Import] - [Version 9 Calendar] を選択して、手動でバージョン 10.0 にインポートする必要があります。
- CorelCENTRAL Alarms は、バージョン 9.0 から 10.0 にマイグレートされません。
- Corel Card File がリンクされているパスのリンクを再設定する必要があります。

Corel Paradox

アプリケーションスクリプト

Corel Paradox

リリース日

2002/08/19

設定の説明

以下の設定を含むすべての設定。

- 表示設定
- ツールバー
- ルーラ設定
- 自動選択
- グリッド/ガイド設定
- クイック接続オプション

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 8.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 9.0
- バージョン 8.0 から 10.0
- バージョン 9.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 10.0
- バージョン 10.0 から 10.0

制限事項

以下の制限があります。

- マイグレーションの前に、ソースシステムとデスティネーションシステムで Clipbook、Connctor、および Desktop Application Director を終了する必要があります。

- デスティネーションディレクトリがソースディレクトリと異なる場合、Clipbook アプリケーションに固有のショートカットキーと QuickFinder は新しいディレクトリに合わせて再設定されません。

Corel Presentations

アプリケーションスクリプト

Corel Presentations

リリース日

2002/06/10

設定の説明

このスクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- 表示設定
- ツールバー
- ルーラ設定
- 自動選択
- グリッド/ガイド設定
- クイック接続オプション

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 8 から 8
- バージョン 8 から 9

- バージョン 8 から 10
- バージョン 9 から 9
- バージョン 9 から 10
- バージョン 10 から 10

制限事項

スタートアップ オプション、データ フォルダの場所、およびツールバーは正常にマイグレートされない可能性があります。

Corel Quattro Pro

アプリケーション スクリプト

Corel Quattro Pro

リリース日

2002/08/19

設定の説明

以下の設定を含むすべての設定。

- ツールバー オプション
- 表示設定
- インターナショナル設定
- マクロの設定
- ファイルの設定
- 全般的な設定

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 8.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 9.0
- バージョン 8.0 から 10.0
- バージョン 9.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 10.0
- バージョン 10.0 から 10.0

制限事項

以下の制限があります。

- カスタマイズしたツールバーおよびキーボードショートカットは、異なるバージョン間でマイグレートされません。
- 外部プログラムを起動するためのツールバー ボタンのマイグレーションはサポートしていません。

- バージョン 8.0 または 9.0 からの、米国通貨以外の通貨設定のマイグレーションはサポートしていません。
- Corel 10 では、デフォルトのファイル拡張子がマイグレートされます。Corel 10 のオプション ペインでは、ドロップダウン リストにある 4 つの拡張子 (XLS、QPW、WB3、WK4) 以外はサポートしていません。後でオプション画面を保存すると、設定はこれら 4 つの拡張子のいずれかに変更されます。

Corel WordPerfect

アプリケーション スクリプト

Corel WordPerfect は、簡単なテキスト編集アプリケーションです。

リリース日

2008/04/04

設定の説明

Corel WordPerfect スクリプトを使用すると、Corel WordPerfect のすべての設定、ワードリスト、WP テンプレート、XML テンプレート、マクロ、およびラベルがマイグレートされます。

マイグレーション パス

マイグレーション パスは以下のとおりです。

- バージョン 12.0 から 12.0
- バージョン 12.0 から 13.0
- バージョン 12.0 から 14.0
- バージョン 13.0 から 13.0
- バージョン 13.0 から 14.0
- バージョン 14.0 から 14.0

注意

- 必要なキーがすべて生成されるようにするために、少なくとも 1 回はアプリケーションを起動する必要があります。

- ソースおよびデスティネーションのアプリケーションバージョンが同じ場合にのみツールバー設定はマイグレートされます。
- デスティネーション コンピュータのアドレス帳エントリは、マイグレーション後に完全に削除されます。マイグレーション後には、ソース システムで作成されたエントリのみが利用できます。
- デスティネーション コンピュータでは、マイグレーション後に **Tool**、**Legal Tools**、**Pleading Expert** オプション関連のファイルは完全に削除されます。マイグレーション後には、ソース システムで作成されたエントリのみが利用できます。

制限事項

以下の制限があります。

- WP テンプレート、XML、グラフィック、およびマクロ ファイルの場所のファイル設定はマイグレートされません。12.0 からのファイルのみがこれらの場所にコピーされ、変更されたファイルをユーザが利用できます。これは、12.0 から 12.0、および 13.0 から 14.0 にマイグレートするときに当てはまります。
- カスタム WP テンプレート、およびプロジェクトとカテゴリの関連性に関連した設定はマイグレートされません。デフォルトの WP テンプレートのみがマイグレートされます。これは、12.0 から 13.0、および 13.0 から 14.0 にマイグレートするときに当てはまります。
- 12.0 からのユーザおよびメインワードリストは、単純に既存のワードリストに追加されます。つまり、ユーザは両方のワードリスト（13.0 で作成されたものと 12.0 からマイグレートされたもの）を利用できます。これは、12.0 から 12.0、および 13.0 から 14.0 にマイグレートするときに当てはまります。
- WP テンプレート、XML、グラフィック、およびマクロ ファイルの場所のファイル設定はマイグレートされません。13.0 からのファイルのみがこれらの場所にコピーされ、変更されたファイルをユーザが利用できます。これは、12.0 から 14.0、および 13.0 から 14.0 にマイグレートするときに当てはまります。
- 12.0 からのユーザおよびメインワードリストは、単純に既存のワードリストに追加されます。つまり、ユーザは両方のワードリスト（14.0 で作成されたものと 13.0 からマイグレートされたもの）を利用できます。これは、13.0 から 14.0 にマイグレートするときに当てはまります。

eTrust Antivirus

アプリケーションスクリプト

eTrust Antivirus はアンチウイルス ソフトウェアです。

リリース日

2007/08/31

設定の説明

eTrustAntivirus スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [Alert マネージャ] オプションを使用すると、[Alert マネージャ] ウィンドウで使用可能な Alert マネージャ設定がマイグレートされます。これは、バージョン 7.1 および 8.1 の場合に当てはまります。
- [警告オプション] オプションを使用すると、[スキャナ] - [警告オプション] で使用可能なアラート設定がマイグレートされます。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- [連絡先情報] オプションを使用すると、[スキャナ] - [連絡先オプション] で使用可能な連絡先設定がマイグレートされます。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- [ローカル スキャナ] オプションを使用すると、[スキャナ] - [ローカル スキャナ] で使用可能なローカル スキャナ設定がマイグレートされます。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- [その他] オプションを使用すると、[ロゴの表示]、[ポリシー ジョブ遅延設定]、および [マイ フォルダ] を含むその他の設定がマイグレートされます。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- [リアルタイム モニタ] オプションを使用すると、[スキャナ] - [リアルタイム モニタ オプション] - [リアルタイム モニタ] - [アニメーションアイコン] で使用可能なリアルタイム モニタの設定がマイグレートされます。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- [スケジュールジョブ] オプションを使用すると、[スキャナ] - [スケジュール ジョブ] で使用可能なスケジュール ジョブの設定がマイグレートされます。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- [シグネチャアップデート] オプションを使用すると、[スキャナ] - [シグネチャアップデート] で使用可能なシグネチャ更新の設定がマイグレートされます。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。

- [リアルタイム モニタ] オプションを使用すると、[設定] - [リアルタイム モニタ オプション] で使用可能なリアルタイム モニタの設定がマイグレートされます。これは、バージョン 8.1 の場合に当てはまります。
- [連絡先情報] オプションを使用すると、[設定] - [連絡先オプション] で使用可能な連絡先設定がマイグレートされます。これは、バージョン 8.1 の場合に当てはまります。
- [電子メール オプション] オプションを使用すると、[設定] - [電子メール オプション] で使用可能な電子メールの設定がマイグレートされます。これは、バージョン 8.1 の場合に当てはまります。
- [スケジュールジョブ] オプションを使用すると、[スキャン] - [スケジュールジョブ] で使用可能なスケジュールジョブの設定がマイグレートされます。これは、バージョン 8.1 の場合に当てはまります。

マイグレーションパス

- バージョン 7.1 から 7.1
- バージョン 7.1 から 8.1
- バージョン 8.1 から 8.1

注意

- マイグレーションの完了後に宛先コンピュータを再起動する必要があります。これは、バージョン 7.1 と 8.1 の両方の場合に当てはまります。
- マルチユーザ環境では、アンドゥが実行されるのは、[ローカル スキャナ] オプション以外のすべてのユーザが選択されている場合のみです。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- マルチユーザ環境では、元に戻す操作が実行されるのは、すべてのユーザが選択されている場合のみです。これは、バージョン 8.1 の場合に当てはまります。
- Alert マネージャでは、MS Exchange の設定は、ソースで設定されていない場合はマイグレートされません。これは、バージョン 7.1 と 8.1 の両方の場合に当てはまります。
- ウイルス シグネチャはマイグレートされません。手動でダウンロードする必要があります。これは、バージョン 7.1 と 8.1 の両方の場合に当てはまります。

- Unicenter Desktop DNA r11 SP2 ではリアルタイム マイグレーションの [リアルタイム モニタ] オプションのパス マッピングが可能です。これは、バージョン 7.1 と 8.1 の両方の場合に当てはまります。
- eTrust Antivirus 7.1 から eTrust Antivirus 8.1 にマイグレートできるのは、起動時にスケジュールされていたジョブのみです。

制限事項

以下の制限があります。

- [除外] および [免除] についてマイグレートされるのはリストのみであり、ファイルまたはフォルダは物理的にはマイグレートされません。宛先コンピュータに ([除外] および [免除] で参照される) ファイルまたはフォルダが存在する場合、同じファイルまたはフォルダは除外または免除されます。これは、バージョン 7.1 と 8.1 の場合に当てはまります。
- マルチユーザ マイグレーションでは、[リアルタイム] オプション、[シグネチャアップデート] オプション、および [ジョブのスケジュール] のユーザ固有のパスは、すべてのユーザに対してマップできません。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- マルチユーザ マイグレーションでは、[リアルタイム] オプションのユーザ固有のパスは、すべてのユーザに対してマップできません。これは、バージョン 8.1 の場合に当てはまります。
- Alert マネージャ内のパスはマップできません。これは、バージョン 7.1 と 8.1 の場合に当てはまります。
- eTrust Antivirus がソースではデフォルトの場所にインストールされ、宛先ではカスタムの場所にインストールされている場合、[ジョブのスケジュール] はマイグレートできません。これは、バージョン 7.1 の場合に当てはまります。
- スケジュール スキャンは、eTrust Antivirus 7.1 から eTrust Antivirus 8.1 にマイグレートできません。

eTrust PestPatrol

アプリケーションスクリプト

eTrust PestPatrol では、スパイウェアが検出および削除されます。

リリース日

08/31/2007

設定の説明

eTrust PestPatrol スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [一般]オプションを使用すると、全般的な設定の一部であるアクティブプロテクションやスキャンなどのすべての設定がマイグレートされます。これは、バージョン 5.0 の場合に当てはまります。
- [プロキシ]オプションを使用すると、[アクティブプロテクション] - [更新オプション] - [プロキシ情報の設定] のプロキシ設定がマイグレートされます。これはバージョン 5.0 の場合に当てはまります。
- [スケジュール済みタスク] オプションを使用すると、[スキャン] - [スキャンのスケジュール設定] のスケジュールタスクがマイグレートされます。これは、バージョン 5.0 の場合のみ当てはまります。
- [リアルタイム]オプションを使用すると、[設定]-[Realtime Settings] で使用可能なリアルタイムの設定がマイグレートされます。これは、バージョン 8.1 の場合のみ当てはまります。
- [除外] オプションを使用すると、[設定] - [除外] で使用可能な設定がマイグレートされます。これは、バージョン 8.1 の場合のみ当てはまります。

マイグレーションパス

- バージョン 5.0 から 5.0
- バージョン 5.0 から 8.1
- バージョン 8.1 から 8.1

注意事項

- マイグレーションの完了後にコンピュータを再起動する必要があります。

- マイグレーション後にシグネチャを更新する必要があります。更新するには、マイグレーション後または宛先での再起動後に表示される[更新] ウィンドウを使用します。
- 新しいコンピュータでネットワーク設定が変更された場合、プロキシ設定を手動で構成する必要があります。これは、バージョン 5.0 の場合のみ当てはまります。
- [詳細設定] - [管理] - [除外] (バージョン 8.1 の場合は、[設定] - [除外]) の除外リストのみがマイグレートされます。除外リストが参照するファイルおよびフォルダは物理的にはマイグレートされません。ただし、除外リストが参照するファイルまたはフォルダがデスティネーションに存在する場合は、PestPatrol ではそのファイルまたはフォルダは排除されます。
- 隔離されたペストはソースで検出されたペストであるため、セキュリティ上の理由からデスティネーションにマイグレートされません。
- スケジュール済みタスクは、スケジュール スキャンが作成されているユーザがログインしているときにのみ機能します。また、その機能はスケジュール スキャンの設定に基づきます。これは、バージョン 5.0 の場合のみ当てはまります。
- PestPatrol のすべての設定はユーザに依存しません。マルチユーザ マイグレーションでは、元に戻す操作が実行されるのは、すべてのユーザが選択されている場合のみです。

制限事項

以下の制限があります。

- 更新されたシグネチャは、5.0 から 5.0 にマイグレートできません。
- スケジュール済みタスクを、5.0 から 5.0 へのマイグレーションで元に戻す操作は実行できません。
- 5.0 から 5.0 へのマイグレーションでは、プロキシ設定は、ソースで構成されている場合のみマイグレートできます。構成されていない場合、宛先の設定は変更されません。
- 5.0 から 5.0 へのマイグレーションで、[アクティブ プロテクションを今すぐ起動] オプションを元に戻す操作は実行できません。
- 5.0 から 5.0 へのマルチユーザ マイグレーションでは、ユーザ固有のパスはすべてのユーザに対してマップできません。

eTrust Threat Management (eITM)

アプリケーション スクリプト

eTrust Threat Management (eITM) は、統合された脅威管理ソフトウェアです。

リリース日

2007/08/31

設定の説明

eTrustThreatManagement スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [Alert Notifications] オプションを使用すると、PestPatrol とアンチウイルスの両方に共通のアラート通知設定がマイグレートされます。これらの設定は、[設定] - [Alert Notifications] にあります。
- [Phone Home] オプションを使用すると、PestPatrol とアンチウイルスの両方に共通の自宅電話設定がマイグレートされます。これらの設定は、[設定] - [Phone Home] にあります。
- [ログ オプション] オプションを使用すると、PestPatrol とアンチウイルスの両方に共通のログ設定がマイグレートされます。これらの設定は、[設定] - [ログ オプション] にあります。
- [スケジュール] オプションを使用すると、PestPatrol とアンチウイルスの両方に共通のスケジュール設定がマイグレートされます。これらの設定は、[更新] - [スケジュール] にあります。
- [Select Components] オプションを使用すると、PestPatrol とアンチウイルスの両方に共通のコンポーネントの選択設定がマイグレートされます。これらの設定は、[更新] - [Select Components] にあります。
- [ダウンロード] オプションを使用すると、PestPatrol とアンチウイルスの両方に共通のダウンロード設定がマイグレートされます。これらの設定は、[更新] - [ダウンロード設定] にあります。
- [ライセンス] オプションを使用すると、PestPatrol とアンチウイルスの両方に共通のライセンス設定がマイグレートされます。これらの設定は、[詳細設定] - [ライセンス] にあります。

マイグレーションパス

- バージョン 8.1 から 8.1

注意

- マイグレーション後にデスティネーション コンピュータを再起動する必要があります。
- マルチユーザ環境では、元に戻す操作が実行されるのは、すべてのユーザが選択されている場合のみです。

制限事項

以下の制限があります。

- [更新]、[ダウンロード設定]、[Proxy settings and Advanced]、[詳細設定]、[ライセンス]、[プロキシ] の各設定は、ソースで構成されている場合にのみマイグレートされます。構成されていない場合、宛先の設定は変更されません。

Eudora Pro

アプリケーションスクリプト

Eudora Pro

リリース日

2002/11/02

設定の説明

このスクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- アプリケーションの外観
- フィルタ
- ユーザ設定
- 添付ファイル
- ユーザ フォルダ
- アドレス帳
- 電子メール アカウント

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 3.x から 3.x
- バージョン 3.x から 4.1
- バージョン 4.1 から 4.1

Exceed

アプリケーションスクリプト

Exceed

リリース日

2002/11/14

マイグレーションパス

- バージョン 6 から 6

制限事項

以下の制限があります。

- HOSTS ファイルのマイグレーションはサポートしていません。
- プリンタ設定はマイグレーションされません。
- .src ファイルと .cfg ファイルは手動で移動する必要があります。
- WyseTerm のデバッグ ログのマイグレーションはサポートしていません。
- 新規のユーザ ツールバー アドインは、 [ツールバーのカスタマイズ] オプションによりアイコンを変更する必要があります。

Executive Software Diskeeper Workstation

アプリケーション スクリプト

Executive Software Diskeeper Workstation

リリース日

2001/11/07

設定の説明

すべての設定がマイグレートされます。

マイグレーション パス

- バージョン 5 から 5

Flash Player

アプリケーション スクリプト

Flash Player

リリース日

03/31/2014

マイグレーション パス

- 12.0.0.43 から 12.0.0.43

設定の説明

Flash Player スクリプトはパス [コントロール パネル] - [すべてのコントロール パネル項目] - [Flash Player] で使用可能な Flash Player 設定をすべてマイグレートします。 [Flash Player] 設定ウィンドウには、以下のタブがあります。

- 記憶領域
- カメラとマイク
- 再生
- 高度な設定

File Maker Pro

アプリケーションスクリプト

File Maker Pro

リリース日

2002/02/13

設定の説明

File Maker Pro スクリプトにより、すべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス：

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4.1 から 4.1
- バージョン 4.1 から 5
- バージョン 5 から 5

FTBAB

アプリケーションスクリプト

FTBAB

リリース日

2002/05/21

設定の説明

Internet Explorer のお気に入りと Netscape のブックマークを相互に変換します。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4.0 から 4.0
- バージョン 4.0 から 5.0
- バージョン 4.0 から 6.0
- バージョン 5.0 から 5.0
- バージョン 5.0 から 6.0
- バージョン 6.0 から 6.0

制限事項

以下の制限があります。

- 複数のユーザプロファイルはマイグレートされません。
- Internet Explorer 6 および Netscape 6 以降のブックマークはサポートしていません。

Gold Mine

アプリケーションスクリプト

Gold Mine

リリース日

2001/11/12

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 5 から 5
- バージョン 5 から 5.5
- バージョン 5.5 から 5.5

制限事項

以下の制限があります。

- デスティネーションコンピュータで、アラームをオフにすることはできません。
- ソースとデスティネーションのモニタの解像度が異なる場合、ツールバーの位置が変わる可能性があります。
- 初回起動時にデータベースが正しくマップされない可能性があります。開くデータベースの選択時に、正しいパスが表示されていることを確認してください。パスが正しくない場合、データベースを右クリックして、プロパティに表示されるパスを変更する必要があります。

Google Chrome

アプリケーションスクリプト

Google Chrome は、WebKit レイアウト エンジンを使用する、Google によって開発されたフリーウェアの Web ブラウザです。

リリース日

12/11/2008

設定の説明

Google Chrome スクリプトには、サポートされているすべての Google Chrome 設定が含まれています。

マイグレーションパス

- バージョン 7.0 から 7.0
- バージョン 7.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 10.0
- バージョン 10.0 から 10.0
- バージョン 10.0 から 11.0
- バージョン 11.0 から 11.0
- バージョン 11.0 から 12.0
- バージョン 12.0 から 12.0
- バージョン 12.0 から 13.0
- バージョン 13.0 から 13.0
- バージョン 13.0 から 14.0
- バージョン 14.0 から 14.0
- バージョン 14.0 から 15.0
- バージョン 15.0 から 15.0

HomeSite

アプリケーション スクリプト

HomeSite はプロフェッショナル仕様の HTML エディタです。

リリース日

2001/02/23

設定の説明

HomeSite スクリプトには、以下の設定が含まれます。

- [HomeSite] オプションには、HomeSite のすべての設定が含まれます。
- [TopStyle] オプションには、TopStyle のすべての設定が含まれます。
TopStyle は、Microsoft Windows 用の CSS/XHTML/HTML エディタです。

マイグレーションパス

- バージョン 4.5 から 4.5

注意

- 外部アプリケーションを示すツールバー上のすべてのカスタム ボタンは、リセットする必要があります。
- [Make TopStyle Dreamweaver's CSS Editor] の設定は、Dreamweaver と共にマイグレートされます。

ICQ

アプリケーションスクリプト

ICQ は、インスタント メッセージング コンピュータ プログラムです。

リリース日

2004/05/11

設定の説明

このスクリプトを使用すると、ICQ のすべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 2000b から 2000b
- バージョン 2000b から 2003b
- バージョン 2000b から 4.0
- バージョン 2003b から 2003b
- バージョン 2003b から 4.0
- バージョン 4.0 から 4.0

InoculateIT Anti-Virus Protection

アプリケーションスクリプト

InoculateIT Anti-Virus Protection

リリース日

2002/06/10

設定の説明

すべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 4.53 から 4.53

制限事項

オートダウンロードマネージャ、ドメインマネージャ、スキャンのスケジュール、リアルタイムモニタ、およびサービスマネージャの設定を異なるプラットフォームにマイグレートすることはできません。

Internet Explorer

アプリケーション スクリプト

Internet Explorer は Web ブラウザです。

リリース日

10/09/2006

設定の説明

Internet Explorer スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [アドレス帳] オプションを使用すると、アドレス帳の設定がマイグレートされます。これは、アドレス プロファイルとも呼ばれる連絡先情報の一覧です。
- [証明書] オプションを使用すると、[ツール] - [インターネット オプション] - [コンテンツ] タブにある証明書がマイグレートされます。
- [接続] オプションを使用すると、プロキシ設定など、ブラウザでインターネットに接続する方法を指定する接続設定がマイグレートされます。
- [Cookie] オプションを使用すると、cookie がマイグレートされます。cookie は、Web サイトに再度アクセスするための設定と情報を保存するために、そのサイトから残された小さいファイルです。
- [お気に入り] オプションを使用すると、お気に入り設定がマイグレートされます。お気に入りは、ブックマークとも呼ばれる Web サイトへのクイック リンクです。
- [全般] オプションを使用すると、[インターネット オプション] にある全般設定がマイグレートされます。これらの設定には、次の項目が含まれます。[ホーム ページ]、[セキュリティ]、[プライバシー]、[個人情報]、および [詳細オプション]
- [アドオンの管理] オプションを使用すると、アドオン設定がマイグレートされます。この設定では、一覧内の特定のアドオンを有効にしたり無効にしたりすることができます。
- [ポップアップ ブロック] オプションを使用すると、ポップアップ設定がマイグレートされます。この設定では、Internet Explorer でポップアップを処理する方法を指定できます。

マイグレーション パス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン7から7
- バージョン7から8
- バージョン7から9
- バージョン7から10
- バージョン7から11
- バージョン8から8
- バージョン8から9
- バージョン8から10
- バージョン8から11
- バージョン9から9
- バージョン9から10
- バージョン9から11
- バージョン10から10
- バージョン10から11
- バージョン11から11

注意事項

- レイティングファイルをマイグレートするには、「*.rat」ファイルに対してフィルタを作成する必要があります。
- インターネット一時ファイルはマイグレートされません。ファイルの場所は、IEの[ツール]-[インターネット オプション]-[設定]-[フォルダの移動]の設定を使用して変更できます。

制限事項

- 7から10、7から11、8から10、8から11、9から10、9から11、10から10または10から11へマイグレートする場合は、パス [ツール]-[インターネット オプション]-[プログラム]-[HTMLの編集]にある[HTMLエディター]はマイグレートされません。
- 7から8、7から9、7から10、7から11、8から9、8から10または8から11へマイグレートする場合は、以下の設定はマイグレートされません。

- [ツール] - [インターネット オプション] - [接続] - [LAN の設定] - [設定を自動的に検出する]
- [ツール] - [インターネット オプション] - [詳細設定] - [ブラウズ] - [スクリプトのデバッグを使用しない (その他)]
- [ツール] - [インターネット オプション] - [全般] - [ブラウザ履歴設定] - [インターネット一時ファイル] - [使用するディスク領域]

Lotus 1-2-3

アプリケーション スクリプト

Lotus 1-2-3

リリース日

2002/11/12

設定の説明

Lotus 1-2-3 スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- 全般的な設定
- 新規ワークブックのデフォルト値
- ファイルの場所
- 再計算
- クラシック キー
- ユーザ設定

マイグレートするアイテムの選択時に、サポートしているすべての Lotus 1-2-3 設定をマイグレートするように選択できます。アプリケーションのマイグレーションを選択することもできます。

マイグレーション パス

- バージョン 97 から 97

制限事項

アプリケーションをマイグレートする場合、SmartSuite の drawer にあるショートカットが正しく機能するように、ソース システムの Lotus 1-2-3 Work フォルダを宛先コンピュータに手動で作成する必要があります。

Lotus Approach

アプリケーションスクリプト

Lotus Approach

リリース日

2002/11/12

設定の説明

Lotus Approach スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- インターネット設定
- ユーザ設定
- 環境設定
- スマートアイコン
- 表示設定
- 順序設定
- パスワード

マイグレーションパス

- バージョン 97 から 97

制限事項

アプリケーションをマイグレートするときに、ソースシステムにある Lotus Approach の Work フォルダが空で、宛先コンピュータに手動で作成されていない場合、SmartSuite の drawer にあるショートカットは正しく動作しません。

Lotus Freelance Graphics

アプリケーションスクリプト

Lotus Freelance Graphics

リリース日

2002/06/10

設定の説明

Lotus Freelance Graphics スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- インターネット設定
- 環境設定
- 作図ツールの設定
- スマートアイコン
- 35mm スライドの設定
- スペルチェック

マイグレーションパス

- バージョン 97 から 97

制限事項

アプリケーションをマイグレートするときに、ソース コンピュータにある Lotus Freelance の Work フォルダと Backup フォルダが空で、宛先システムに手動で作成されていない場合、SmartSuite の drawer にあるショートカットは正しく動作しません。フォルダは `install.ini` ファイルの「Destination Symbols And Values」セクション内の `FLWORKDIR` および `FLWBACKUPDIR` で設定できます。

Lotus Notes

アプリケーションスクリプト

Lotus Notes

リリース日

09/04/22

設定の説明

Lotus Notes スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- ユーザの基本的な設定
- ユーザのインターナショナル設定
- ユーザのセキュリティ設定
- ツールバー設定
- ステータスバー設定
- 基本オプション
- [詳細オプション]
- ユーザ辞書

マイグレートするアイテムの選択時に、サポートしているすべての Lotus Notes の設定を選択できます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4.0 から 4.0
- バージョン 4.0 から 5.0
- バージョン 4.0 から 6.0
- バージョン 4.0 から 6.5
- バージョン 4.0 から 8.1
- バージョン 5.0 から 5.0
- バージョン 5.0 から 6.0
- バージョン 5.0 から 6.5
- バージョン 5.0 から 8.1
- バージョン 6.0 から 6.0

- バージョン 6.0 から 6.5
- バージョン 6.0 から 8.1
- バージョン 6.5 から 6.5
- バージョン 6.5 から 8.1
- バージョン 8.1 から 8.1

制限事項

以下の制限があります。

- デフォルトのホームページおよびレターヘッドはマイグレートできません。
- [User Preferences] - [Basics] - [Additional options] の [Mark documents read] オプションはマイグレートできません。
- Welcome Page で特定のリンクを選択するには、メールボックスを 1 回開く必要があります。
- Lotus Notes 4.6.2 から 5.0 にマイグレートする場合、一部のアイテムはマイグレートできません。

Lotus Organizer

アプリケーションスクリプト

Lotus Organizer

リリース日

2002/06/10

設定の説明

Lotus Organizer スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- Organizer の設定
- 環境設定
- フォルダ設定
- スマートアイコンのセットアップ

- レイアウト設定
- セキュリティ

マイグレーションパス

- バージョン 97 から 97

制限事項

アプリケーションをマイグレートするときに、Lotus Organizer の Work フォルダまたは Backup フォルダが空の場合、Organizer はマイグレートされません。この場合、宛先システムにファイルを手動で作成する必要があります。このフォルダの場所：install.ini ファイルの Destination Symbols And Values セクション内の ORGWORKDIR または ORGBACKUPDIR。

Lotus WordPro

アプリケーションスクリプト

Lotus WordPro

リリース日

2002/06/10

設定の説明

Lotus WordPro スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- 一般設定
- ロケーション
- デフォルトファイル
- 個人情報の設定
- スマートアイコンのセットアップ
- サイクルキー
- スマートファイル

マイグレーションパス

- バージョン 97 から 97

Macromedia Director

アプリケーションスクリプト

Macromedia Director

リリース日

2001/11/07

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 6 から 6
- バージョン 6 から 6.5
- バージョン 6.5 から 6.5
- バージョン 7 から 7

制限事項：

ブラウザが異なるディレクトリにある場合、Preferred Browser がマイグレートされないことがあります。

Macromedia Dreamweaver

アプリケーションスクリプト

Macromedia Dreamweaver

リリース日

2001/07/16

マイグレーションパス

- バージョン3 から 3

制限事項

以下の制限があります。

- ソースとデスティネーションのモニタの解像度が異なる場合、ツールバーの位置が変わる可能性があります。
- 外部エディタの拡張子に関連付けられたエディタの中には、適切に動作せず、ソースシステムでリセットする必要があるものもあります。

Macromedia Fireworks

アプリケーション スクリプト

Macromedia Fireworks

リリース日

2001/07/16

マイグレーション パス

マイグレーション パスは以下のとおりです。

- バージョン 2 から 2
- バージョン 3 から 3
- バージョン 3 から 4
- バージョン 4 から 4

制限事項

以下の制限があります。

- ソースとデスティネーションのモニタの解像度が異なる場合、ツールバーの位置が変わる可能性があります。
- コマンドリストはマイグレートされません。

Macromedia Freehand

アプリケーションスクリプト

Macromedia Freehand

リリース日

2001/09/06

マイグレーションパス

- バージョン 8 から 8

制限事項 :

ソースとデスティネーションのモニタの解像度が異なる場合、ツールバーの位置が変わる可能性があります。

McAfee Security Center

アプリケーションスクリプト

McAfee Security Center は、ファイアウォールおよびアンチスパイウェア機能と統合されたアンチウイルス アプリケーションです。

リリース日

2007/08/20

設定の説明

McAfee Antivirus スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [SecurityCenter Configuration] オプションを使用すると、全体的なセキュリティ保護ステータスと情報アラートを含む設定がマイグレートされます。
- [Computer and Files Configuration] オプションを使用すると、コンピュータとファイルを保護するための全般的な設定がマイグレートされます。
- [E-mail and IM Configuration] オプションを使用すると、電子メールとインスタントメッセージングを保護するための全般的な設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 7.0 から 7.0
- バージョン 7.0 から 7.2
- バージョン 7.2 から 7.2

制限事項

以下の制限があります。

- [Personal Firewall] 設定のマイグレーションはサポートされていません。
- [Computer and Files Configuration] の設定はマイグレートできません。[Spyware protection] がオンになっています。
- 7.2 から 7.2 への [Parental Control] 設定のマイグレーションはサポートされていません。

Microsoft Word

アプリケーションスクリプト

Microsoft Word はテキスト ドキュメントを作成および編集できるワード プロセッサ アプリケーションです。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

Microsoft Word スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [全般] オプションを使用すると、ファイルの場所、ツールバーのオプション、文章校正、ユーザ辞書、書式設定オプションなどの全般的な設定がマイグレートされます。
- [証明書] オプションを使用すると、すべてのシステム証明書がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 2007 から 2007
- バージョン 2007 から 2010
- バージョン 2007 から 2013
- バージョン 2010 から 2010
- バージョン 2010 から 2013
- バージョン 2013 から 2013

注意事項

- ユーザ辞書については、デスティネーションにソースより多くの辞書がある場合、デスティネーションの追加辞書がマイグレーション後に保持されます。
- スタートアップのパスには多くの場合アドインが含まれるため、[ツール] - [オプション] - [ファイルの場所] - [スタートアップ] に含まれるファイルは、アドインの設定の一部としてマイグレートされます。

- [イメージ] を除き、[ツール] - [オプション] - [ファイルの場所] では、他のデフォルトのファイルの場所からマイグレートされるファイルはありません。

制限事項

- [ツール] - [オプション] - [詳細設定] - [全般] 以下の設定はマイグレートされません。
- アドインのマイグレーションはサポートされていません。
- [住所] の設定（[ツール] - [オプション] - [詳細設定] - [全般]）のマイグレーションはサポートされていません。
- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、[配色] の設定（[ファイル] - [オプション] - [基本設定]）はマイグレートされません。
- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、印刷オプション（[ファイル] - [オプション] - [表示]）はマイグレートされません。
- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、[自動文章校正] の設定（[ファイル] - [オプション] - [文章校正] - [Word のスペルチェックと文章校正]）はマイグレートされません。
- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、[貼り付け時に自動調整する] の設定（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定] - [切り取り、コピー、貼り付け]）はマイグレートされません。
- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、[印刷] の設定（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定]）はマイグレートされません。
- オートコレクトのオプション（[ファイル] - [オプション] - [文章校正] - [オートコレクトのオプション]）はマイグレートされません。
- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、[文書のスタイル] の設定（[ファイル] - [オプション] - [文章校正] - [Word のスペルチェックと文章校正]）はマイグレートされません。
- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、[Diacritic の色] の設定（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定] - [構成内容の表示]）はマイグレートされません。

- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、[下書き表示およびアウトライン表示で下書きフォントを使用する] の設定（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定] - [構成内容の表示]）はマイグレートされません。

Mozilla Firefox

アプリケーションスクリプト

Mozilla Firefox は、Microsoft Windows、OS X、および Linux 用に開発され、Mozilla Corporation および Mozilla Foundation によって調整される、無料のオープンソース Web ブラウザです。

リリース日

12/11/2008

設定の説明

Mozilla Firefox スクリプトには、サポートされているすべての Mozilla Firefox 設定が含まれています。

マイグレーションパス

- バージョン 1.5 から 1.5
- バージョン 1.5 から 2.0
- バージョン 2.0 から 2.0
- バージョン 2.0 から 3.0
- バージョン 3.0 から 3.0
- バージョン 3.0 から 3.5
- バージョン 3.5 から 3.5
- バージョン 3.5 から 3.6
- バージョン 3.6 から 3.6
- バージョン 3.6 から 4.0
- バージョン 4.0 から 4.0
- バージョン 4.0 から 5.0
- バージョン 5.0 から 5.0

MS Access

アプリケーションスクリプト

MS Access は、Microsoft Jet リレーショナルデータベース エンジンをグラフィカルユーザ インターフェースと結合する、リレーショナル データベース管理システムです。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

MS Access スクリプトにより、サポートされる Microsoft Access のすべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 2007 から 2007
- バージョン 2007 から 2010
- バージョン 2007 から 2013
- バージョン 2010 から 2010
- バージョン 2010 から 2013
- バージョン 2013 から 2013

注意事項

- ユーザ辞書については、デスティネーションにソースより多くの辞書がある場合、デスティネーションの追加辞書はマイグレーション後に保持されます。
- デスティネーションのユーザ辞書は、マイグレーション後に上書きされます。

制限事項

以下の制限があります。

- アドインのマイグレーションはサポートされていません。
- ユーザ辞書については、デスティネーションにソースより多くの辞書がある場合、デスティネーションの追加辞書はマイグレーション後に保持されます。

- 2007 から 2013 にマイグレートする場合、最近使用したファイルの設定はマイグレートされません。その結果、[ファイル]メニューの[最近使用したファイル]で最近開いたファイルのリストを参照できません。
- MS Access 2010 から 2010 へのマイグレーションに関するレポートマイグレートされないオプション：
 - [Access のオプション] - [カレント データベース]
 - [Access のオプション] - [クライアントの設定] - [最近使用したファイルの数]
 - [Access のオプション] - [クライアントの設定] - [標準] タブの [このデータベース]
 - [Access のオプション] - [プライバシー オプション] - [セキュリティ センター] - [プライバシー] のすべてのオプションはマイグレートされません。

Microsoft Excel

アプリケーションスクリプト

Microsoft Excel はスプレッドシートを作成するためのアプリケーションです。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

MSExcel スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [全般] オプションを使用すると、MS Excel のすべての基本設定がマイグレートされます。
- [証明書] オプションを使用すると、システム証明書がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 2007 から 2007
- バージョン 2007 から 2010
- バージョン 2007 から 2013
- バージョン 2010 から 2010
- バージョン 2010 から 2013
- バージョン 2013 から 2013

注意事項

- ユーザ辞書については、デスティネーションにソースより多くの辞書がある場合、デスティネーションの追加辞書はマイグレーション後に保持されます。
- 手動でエクスポートおよびインポートできる証明書とその設定のみがスクリプトを使用してマイグレートされます。

制限事項

以下の設定はマイグレートできません。

- アドインのマイグレーションはサポートされていません。
- デフォルト設定からカスタム設定へのツールバーのカスタマイズ内容のマイグレーションを元に戻す操作は、2007 から 2007 へのマイグレーションではサポートされていません。
- ソース上での [ファイル] - [Excel のオプション] - [詳細設定] - [全般] - [サービス オプション] - [カスタマー フィードバックのオプション] - [参加しない] の設定は、デスクトップ上で Excel が一度も実行されていない場合、2007 から 2007 にマイグレートされません。
- [ファイル] - [Excel のオプション] - [セキュリティ センター] - [セキュリティ センターの設定] - [プライバシー オプション] - [カスタマ エクスペリエンス向上プログラムに参加する] がオフになっている場合、その設定は 2007 から 2007 にマイグレートされません。

MS Exchange

アプリケーション スクリプト

MS Exchange は Microsoft Exchange メール クライアントです。

リリース日

2006/07/06

設定の説明

MSEExchange スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- MS Exchange のすべてのアプリケーション設定
- MS Exchange アプリケーション
- Windows Messaging のすべての設定

制限事項

以下の制限があります。

- Windows Messaging は Windows 2000、Windows XP、または Windows Vista ではサポートされません。
- Microsoft Exchange は Windows 2000、Windows XP、または Windows Vista ではサポートされません。

MS FrontPage

アプリケーション スクリプト

MS FrontPage は、HTML エディタおよび Web サイト管理アプリケーションです。

リリース日

4/22/2004

設定の説明

Front Page スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- 表示オプション
- ページ サイズ設定
- アクセシビリティ オプション
- 一般オプション
- ページ オプション
- オート サムネイルのフォント
- オーサリング オプション
- IntelliSense の設定
- ルーラー オプション

マイグレーション パス

- バージョン 1997 から 1997
- バージョン 1997 から 2000
- バージョン 1997 から XP
- バージョン 2000 から 2000
- バージョン 2000 から XP
- バージョン XP から XP
- バージョン XP から 2003
- バージョン 2003 から 2003

制限事項

以下の制限があります。

- [ツール] - [ページのオプション] - [全般] - [配置に DIV タグを使用する]
- [ツール] - [ページのオプション] - [オート サムネイル]
- [ツール] - [オプション] - [レポート ビュー]
- ロケールの違うオペレーティング システムでのテスト時には、エラーが発生する可能性があります。

MSOffice

アプリケーションスクリプト

MSOffice は他の Microsoft のアプリケーションによって共有される MS Office コンポーネントを表します。

リリース日

7/21/2005

スクリプトの説明

MSOffice スクリプトを使用すると、MS Office のツールの設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 1995 から 1995
- バージョン 1995 から 1997
- バージョン 1995 から 2000
- バージョン 1995 から XP
- バージョン 1995 から 2003
- バージョン 1997 から 1997
- バージョン 1997 から 2000
- バージョン 1997 から XP
- バージョン 1997 から 2003
- バージョン 2000 から 2000
- バージョン 2000 から XP
- バージョン 2000 から 2003
- バージョン XP から XP
- バージョン XP から 2003
- バージョン 2003 から 2003

注意事項

- MSVisio のデータベース設定をマイグレートするには、(ODBC) Database スクリプトを使用します。
- MSVisio の Net Meeting 設定をマイグレートするには、Net Meeting スクリプトを使用します。
- [最近使用したドキュメント] 設定オプションは、ファイルがマイグレーション前と同じ場所にある場合にのみ機能します。それ以外の場合は、[最近使用したドキュメント] をクリックすると標準システムエラーが表示されます。

制限事項

- 手動で挿入したクリップは、以前のバージョンから 2003 に自動的にマイグレートできません (サムネイルはマイグレートされます)。これらのクリップは、ファイルとして移動した後、クリップアートギャラリーを使用して再インポートできます。

- **Genius Office** アシスタントは **Office XP** では使用できなくなりました。アシスタントは、**2000** から **XP** へのマイグレートでクリップに戻ります。
- マイグレーションでは、**1997** から **2000** へのオートコレクトファイルのマイグレーションのデフォルト値として、英語のファイル形式 (**MSO1033.acf**) を使用します。
- **1997** から **2000**、**XP**、**2003** へのマイグレーションでは、すべてのデフォルト項目がオートコレクトリストに追加されます。
- **Office** アシスタントの選択は、**Office 1997** から上位バージョンにはマイグレートできません。以前のバージョンから **XP** および **2003** にマイグレートする場合、アシスタントを再選択する必要があります。
- 以前のバージョンから **1997**、**2000**、**XP**、**2003** へのマイグレーションでは、**Windows XP** のクリップ オーガナイザにマイグレートしたクリップアートは、手動で追加する必要があります。各フォルダについて、ステップ 6 の手順に従います。
 1. クリップ オーガナイザを開きます。[挿入]-[図]-[クリップアート] を選択します。

タスク ペインの下に、[クリップの整理] リンクが表示されます。
 2. リンクをクリックします。

クリップ オーガナイザが表示されます。
 3. [ファイル] メニューの [新しいコレクション] を選択します。
 4. コレクション名を入力し、[OK] をクリックします。
 5. コレクションを右クリックして、[コレクションのプロパティ] を選択します。
 6. [追加] ボタンをクリックします。下のフォルダを選択して、[追加] ボタンをクリックします。
 7. [OK] をクリックすると、クリップ オーガナイザが終了します。
- **Program Files** ディレクトリのドライブ文字が変更された場合、クリップアートは以下の操作を実行しないと正常に動作しません。これは、以前のバージョンから **1997** および **2000** にマイグレートする際に当てはまります。
 1. クリップアート ギャラリーに追加されたファイルをダブルクリックします。
 2. 警告メッセージが表示されます。 [OK] をクリックします。

3. [更新] ダイアログ ボックスが表示されます。 [すべて更新] をクリックします。
4. [すべて更新] をクリックした後に表示される新しいダイアログ ボックスで [ネットワーク ドライブ] をチェックし、 [OK] をクリックします。
5. 新しいダイアログ ボックスで、 [更新場所] をクリックします。
6. 表示されたダイアログ ボックスで、 ¥Program Files¥Common Files¥Microsoft Shared¥ArtGallery¥Downloaded Clips に移動します。 そこにある 1 つのファイルを選択します。

MS Office ショートカット バー

アプリケーションスクリプト

MS Office ショートカット バー

リリース日

4/22/2004

設定の説明

MS Office ショートカット バー スクリプトにより、同一バージョンおよび上位バージョンへのマイグレーションで、MS Office ショートカット バーのすべての設定（「制限事項」セクションに記述されている設定を除く）がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 1997 から 1997
- バージョン 1997 から 2000
- バージョン 1997 から XP
- バージョン 2000 から 2000
- バージョン 2000 から XP
- バージョン XP から XP

制限事項

以下の制限があります。

- MS Office ショートカット バーは、Microsoft により、Office バージョン 2003 以降は廃止となりました。このバージョンへのマイグレーションはサポートしていません。
- マイグレーションの前に、Microsoft Office ショートカット バーを閉じる必要があります。
- デスティネーションのコンピュータに対応するファイルまたはパスが存在しない場合、ツールバーのボタンはサポートされない可能性があります。
- デスクトップ、お気に入りなどのシステム定義ツールバーの内容は、特定のフォルダを移動して、個別にマイグレートする必要があります。
- デスティネーション上のアプリケーションは検出できません。ツールバーはマイグレートされますが、ユーザの設定は再設定するか、再マイグレートする必要があります。
- 異なる色設定のディスプレイにマイグレートする場合、ツールバーの色が変わる可能性があります。
- Microsoft Office アプリケーションをショートカット バーと共にマイグレートする場合、MS Office ショートカット バーのマイグレーションをもう一度実行する必要があります。
- ソースのツールバーがデスティネーションのツールバーと同じ名前ではない場合、古いツールバー（新しいツールバーのボタンとして表示される）はマイグレーション後に手動で閉じる必要があります。

MS OneNote

アプリケーションスクリプト

Microsoft OneNote は、自由形式の情報を収集して複数ユーザで連携するためのコンピュータ プログラムです。ユーザのメモ（手書きまたは入力データ）、図面、画面の領域、およびオーディオ コメントを収集して、インターネット上の他の OneNote ユーザと共有します。

リリース日

04/29/2013

スクリプトの説明

MS OneNote スクリプトにより、サポートされるすべての Microsoft OneNote 設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 2010 から 2010
- バージョン 2010 から 2013
- バージョン 2013 から 2013

注意事項

- ユーザ辞書については、デスティネーションにソースより多くの辞書がある場合、デスティネーションの追加辞書はマイグレーション後に保持されます。

制限事項

- アドインのマイグレーションはサポートされていません。

Microsoft Outlook

アプリケーションスクリプト

Microsoft Outlook では、メールや予定を管理できます。

リリース日

04/29/2013

スクリプトの説明

MS Outlook スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [一般] オプションを使用すると、MS Outlook のすべての基本設定がマイグレートされます。
- [MailFiles] オプションを使用すると、ユーザプロファイルとそれに対応する .pst ファイルがマイグレートされます。
- [証明書] オプションを使用すると、システム証明書がマイグレートされます。
- [アドイン] オプションを使用すると、対応するアドインに関連付けられた設定がマイグレートされます。アドインは、追加機能を提供するために MS Outlook に添付できるプログラムです。アドインは、特定のアプリケーションに固有のものであります。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

バージョン 2007 から 2007

バージョン 2007 から 2010

バージョン 2007 から 2013

バージョン 2010 から 2010

バージョン 2010 から 2013

バージョン 2013 から 2013

注意事項

- ユーザ辞書については、デスティネーションにソースより多くの辞書がある場合、デスティネーションの追加辞書はマイグレーション後に保持されます。
- アドイン設定をマイグレートする前に、デスティネーションにアドインをインストールする必要があります。
- [ツール] - [オプション] - [予定表オプション] の [タイムゾーン] の設定は、システムのタイムゾーンの設定に関連付けられ、[システム設定] の [タイムゾーン] オプションを使用してマイグレートできます。
- [ツール] - [オプション] - [セキュリティ] の [ゾーン] の設定は、IE の設定に関連付けられているため、IE のオプションを使用してマイグレートできます。
- Outlook で個別の設定が使用されている場合は、メールファイルのマイグレーションは行わないでください。
- [ツール] - [オプション] - [インスタント メッセージング] - [オプション] の設定は、Windows Messenger の設定に関連付けられ、[アプリケーション設定] の [Windows Messenger] オプションを使用してマイグレートできます。
- ホーム ページがファイルの場合は、フィルタを使用して手動でマイグレートする必要があります。

トラブルシューティング

問題 : Outlook がキャッシュ モードを使用して構成されており、Exchange サーバに少なくとも一度接続する必要があることを示すエラーが発生する場合には、次の手順に従います。

1. Exchange サーバとユーザ名に関する詳細を入力するためのダイアログボックスが表示されます。
2. 詳細がすでに設定されている場合でも、再度入力します。
3. Outlook を開き直すと、エラーが表示されなくなります。

制限事項

以下の制限があります。

- 2007 から 2013 または 2010 から 2013 にマイグレートする場合、以下の設定はマイグレートされません。

- 会議出席依頼、会議出席依頼への返信、投票を自動処理する（[ファイル] - [オプション] - [メール] - [確認]）。
- 確認情報の更新後、コメントのない返信を削除する（[ファイル] - [オプション] - [メール] - [確認]）。
- グループ スケジュールに空き時間として公開されている予定を表示する（[ファイル] - [オプション] - [予定表] - [表示オプション]）。
- **mailto:** プロトコルで **UTF-8** をサポートする（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定] - [文字設定オプション]）。
- プログラムによるアクセスのセキュリティ（[ファイル] - [オプション] - [セキュリティセンター] - [セキュリティセンターの設定]）。
- 図を挿入/貼り付ける形式（[ファイル] - [オプション] - [メール] - [メッセージの作成] - [編集オプション] - [詳細設定]）。
- [格納領域の制限値] の設定は、フランス語およびドイツ語の環境ではマイグレートできません（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定] - [開発] - [ユーザー設定フォーム] - [フォームの一時格納領域]）。
- 受信トレイ、連絡先などの各フォルダの **Archive.pst** の場所は、手動でマップする必要があります。
- オートコレクトのオプションはマイグレートできません（[ファイル] - [オプション] - [メール] - [編集オプション] - [文章校正]）。
- インデックスのオプションはマイグレートできません（[ファイル] - [オプション] - [検索]）。
- [次の時間ごとに自動的に送受信を実行する] の設定はマイグレートできません（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定]）。
- ナビゲーション ウィンドウ オプションは、技術的な制限によりマイグレートできません（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定] - [Outlook ウィンドウ] - [ナビゲーション ウィンドウ]）。
- **To Do** バーの設定はマイグレートできません（[表示] - [レイアウト]）。
- [Outlook の起動後に表示するフォルダー] の設定はマイグレートできません（[ファイル] - [オプション] - [詳細設定] - [Outlook の開始と終了]）。
- マイグレーション前に、対応するアドインがデスティネーションにインストールされていない場合、アドイン設定はマイグレートできません。

- [ファイル] - [オプション] - [予定表] - [天気] - [天気の設定] 以下にある設定はマイグレートされません。

MS Outlook Express

アプリケーションスクリプト

Microsoft Outlook Express は、Internet Explorer に付属している電子メールクライアントです。

リリース日

7/08/2008

設定の説明

このスクリプトでは、以下の設定がマイグレートされます。

- MS Outlook Express のすべての設定
- アドレス帳の設定
- ニュースおよびメールのアカウントの設定

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4.0 から 4.0
- バージョン 4.0 から 5.0
- バージョン 4.0 から 5.5
- バージョン 4.0 から 6.0
- バージョン 5.0 から 5.0
- バージョン 5.0 から 5.5
- バージョン 5.0 から 6.0
- バージョン 5.5 から 5.5
- バージョン 5.5 から 6.0
- バージョン 6.0 から 6.0

注意事項

- デスティネーションですでに設定されているアカウントは上書きされません。ソース上の起動ユーザのアカウントは、すべて **Windows Mail** にマイグレートされます。
- ソース上のデフォルト ユーザの設定は、**Windows Mail** にマイグレートされます。
- **Windows Mail** へのマイグレート時には、デフォルト ユーザの設定およびアカウントのみが考慮されます。
- アドレス帳を移動するには、**4.0** からアップグレードする前に、現在のユーザとしてログオンする必要があります。
- **Outlook Express** のアドレス帳の連絡先は、**Windows Mail** の **Windows** アドレス帳にはアップグレードされません。以下のコマンドを使用して同じ内容をインポートできます。

```
" '<Windows Mail インストール パス>%Wab' /Import '<wab ファイルへのパス>' "
```
- メッセージは手動でインポートおよびエクスポートして、**Outlook Express** から **Windows Mail** にマイグレートする必要があります。

制限事項

以下の制限があります。

- 特定のフォルダにメッセージを移動またはコピーするために使用される受信トレイルールは、**4.0** から **5.0**、**5.5**、**6.0** にマイグレートできません。
- **Outlook Express** の表示列の、**4.0** から **5.0**、**5.5**、**6.0** へのマイグレーションはサポートされていません。
- ID に対するパスワードは、**5.0** から **5.0**、**5.5**、**6.0**、および **6.0** から **6.0** にマイグレートできません。ユーザの ID に対するパスワードが無効になりました。
- [表示] の [現在のビュー] オプションは、**5.0** から **5.0**、**5.5**、**6.0**、および **5.5** から **5.5**、**6.0**、および **6.0** から **6.0** にマイグレートできません。
- **Outlook Express** のデフォルト設定から **Windows Mail** のデフォルトでない設定へのマイグレーションは、旧バージョンから **Windows Mail** へは実行できません。

MS NetMeeting

アプリケーションスクリプト

MS NetMeeting

リリース日

2002/06/10

マイグレーションパス

- バージョン 3.01 から 3.01

MSN Messenger

アプリケーションスクリプト

MSN Messenger は、インスタントメッセージングクライアントです。

リリース日

08/03/2007

設定の説明

MSNMessenger スクリプトにより、MSN Messenger のすべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 7.0 から 7.0
- バージョン 7.0 から 7.5
- バージョン 7.0 から 8.0
- バージョン 7.0 から 8.1
- バージョン 7.5 から 7.5
- バージョン 7.5 から 8.1
- バージョン 8.1 から 8.1
- バージョン 8.1 から 8.5
- バージョン 8.5 から 14.0

- バージョン 14.0 から 14.0
- バージョン 14.0 から 15.4
- バージョン 15.4 から 15.4

注意事項

- マイグレートする前に、MSN Messenger のすべてのインスタンスを閉じてください。

制限事項

- ログイン画面の設定はマイグレートできません。
- Customized Display Picture、Emoticons、Backgrounds はマイグレートできません。

Microsoft PowerPoint

アプリケーションスクリプト

Microsoft PowerPoint はプレゼンテーションを作成するためのアプリケーションです。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

MS PowerPoint スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [全般] オプションを使用すると、ツールバー オプション、オートコレクト オプション、ユーザ辞書などの全般的な設定がマイグレートされます。
- [証明書] オプションを使用すると、すべてのシステム証明書がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 2007 から 2007
- バージョン 2007 から 2010

- バージョン 2007 から 2013
- バージョン 2010 から 2010
- バージョン 2010 から 2013
- バージョン 2013 から 2013

注意事項

- ユーザ辞書については、デスティネーションにソースより多くの辞書がある場合、デスティネーションの追加辞書はマイグレーション後に保持されます。
- 以前のバージョンから 2013 にマイグレートする場合、アドインはマイグレートできません。
- 以下のアドインがサポートされます。これらのアドインの設定は、一般的な設定と共にマイグレートされます。

制限事項

以下の制限があります。

- ソース上での [ファイル] - [PowerPoint のオプション] - [詳細設定] - [全般] - [サービス オプション] - [カスタマー フィードバックのオプション] - [参加しない] の設定は、2007 から 2007 にマイグレートされません。
- [ファイル] - [Powerpoint のオプション] - [セキュリティ センター] - [セキュリティ センターの設定] - [プライバシー オプション] - [カスタマー エクスペリエンス向上プログラムに参加する] の設定がオフになっている場合、その設定は 2007 から 2007 にマイグレートされません。
- アドインのマイグレーションは、Office 2007 から 2013、Office 2010 から 2013、および Office 2013 から 2013 ではサポートされていません。

MS Project

アプリケーションスクリプト

MS Project はプロジェクト管理アプリケーションです。リソースの要件の見積もり、タスクの依存関係の分析、プロジェクトの進行状況の追跡などを実行できます。

リリース日

05/10/2007

設定の説明

MS Project スクリプトにより、サポートされる Microsoft Project のすべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 1998 から 1998
- バージョン 1998 から 2003
- バージョン 1998 から 2007
- バージョン 2000 から 2000
- バージョン 2000 から 2003
- バージョン 2000 から 2007
- バージョン 2003 から 2003
- バージョン 2003 から 2007
- バージョン 2007 から 2007
- バージョン 2007 から 2010
- バージョン 2010 から 2010

注意事項

- デスティネーションのユーザ辞書は、マイグレーション後に上書きされます。

制限事項

以下の制限があります。

- MS Project 2010 から MS Project 2010 へのマイグレーションに関するレポート
マイグレートされないオプション：
 - [プロジェクトのオプション] - [全般] - [イニシャル]
- MS Project 2007 から MS Project 2010 へのマイグレーションに関するレポート
マイグレートされないオプション：
 - [クイック アクセス] ツールバーはマイグレートされません

MS Visio

アプリケーションスクリプト

MS Visio は、図を作成するためにベクタグラフィックを使用できる、Microsoft Windows 用のソフトウェアです。

リリース日

04/29/2013

設定の説明

MSVisio スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [全般] オプションを使用すると、全般的な設定がマイグレートされます。これには、さまざまな図形のカテゴリのオプション、配色、図面ウィンドウのオプション、表示オプション、タスク オプションなどがあります。
- [アドイン] オプションを使用すると、アドインがマイグレートされます。アドインは、追加機能を提供するために MSVisio に添付できるプログラムです。アドインは、特定のアプリケーションに固有のもので、以下のアドインがサポートされます。
 - Netzoom (MSVisio 10.0、11.0、および 12.0 でサポートされています) は、マイグレーション前にデスティネーションにインストールする必要があります。
 - 3D Visioner (MSVisio 10.0、および 11.0 でサポートされています) は、マイグレーション前にデスティネーションにインストールする必要があります。
 - Microsoft Visio Crime Scenes Add-in (MSVisio 6.0 でサポートされています)。
 - Clip-Art (MSVisio 10.0 でサポートされています)。

マイグレーションパス

- バージョン 2007 から 2007
- バージョン 2007 から 2010
- バージョン 2010 から 2010
- バージョン 2010 から 2013
- バージョン 2013 から 2013

注意事項

- デスティネーションが 2013 より前のバージョンの場合、マイグレーション後に、デスティネーションのユーザ辞書が上書きされます。
- [ファイルパスの設定] に示されたパスのステンシルとテンプレートについては、ファイルパスおよびデータがマイグレートされます。
- 図面、スタートアップ、フィルタ、アドオン、ヘルプのファイルパスはマイグレートされますが、データはマイグレートされません。データは、フィルタ オプションを使用してマイグレートする必要があります。

制限事項

以下の制限があります。

- MS Visio 2010 から MS Visio 2010 へのマイグレーションに関するレポート
マイグレートされないオプション：
 - [Visio のオプション] - [詳細設定] - [元に戻す操作の最大数]
 - [Visio のオプション] - [詳細設定] - [角度]
 - [Visio のオプション] - [詳細設定] - [一般のユーザーから送信された Office.com コンテンツを表示する]
 - [Visio のオプション] - [詳細設定] - [既定の単位] - [テキスト]
 - [Visio のオプション] - [詳細設定] - [既定の単位] - [期間]
- MS Visio 2007 から MS Visio 2010 へのマイグレーションに関するレポート
マイグレートされないオプション：
 - [クイック アクセス] ツールバーはマイグレートされません
- Visio でマイグレートされない設定：
 - [オプション] - [詳細設定] - [既定の単位] - [テキスト]
 - [オプション] - [詳細設定] - [既定の単位] - [期間]
 - [オプション] - [詳細設定] - [編集オプション] - [IntelliMouse のホイールで倍率を変更]
 - [オプション] - [詳細設定] - [編集オプション] - [選択している図形を中心にズーム]
 - [オプション] - [詳細設定] - [全般] - [開発モードで実行する]

- [オプション] - [リボンのユーザー設定] - [リボンのユーザー設定] - [開発]
- [最近使用したドキュメント] の設定は、2007 から 2013 および 2010 から 2013 にはマイグレートされません。
- MS Visio の 32 ビットから 64 ビットへのマイグレーションは、64 ビットオペレーティングシステムではサポートされません。

MS Visual Studio

アプリケーションスクリプト

Microsoft Visual Studio では、Visual Basic、C++、.NET、Windows、および C# アプリケーションをすべて管理できる統合環境が提供されています。

リリース日

07/04/2008

設定の説明

MS Visual Studio スクリプトを使用すると、IDE 表示、デバッグ、外部ツール設定、エディタなどの Visual Studio の全設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 6.0 から 6.0
- バージョン 6.0 から 2003
- バージョン 6.0 から 2005
- バージョン 6.0 から 2008
- バージョン 2003 から 2003
- バージョン 2003 から 2005
- バージョン 2003 から 2008
- バージョン 2005 から 2005
- バージョン 2005 から 2008
- バージョン 2008 から 2008
- バージョン 2008 から 2010
- バージョン 2010 から 2010

注意事項

- Visual Studio 6.0 では、以下のアドインがサポートされています。
 - ActiveXDocumentWizard6.Wizard
 - AddInToolbar6.Connect
 - APIDeclarationLoader.AddInDesigner
 - AppWizard6.Wizard

- ClassBuilder6.Wizard
- ControlWiz6.Wizard
- DataFormWizard6.Wizard
- MSVBDataObjGen.Wizard
- PAddIn.AddIn
- PropertyPageWizard6.Wizard
- ResEdit6.Connect
- TempMgr.AddInDesigner1
- VBSDIAddIn.Connect
- VcmMgr.Connect
- WizMan6.Connect
- .NET Framework のバージョンは、インストールされた Visual Studio のバージョンと適合している必要があります。たとえば、Visual Studio 7 は .NET 2.0 環境にはインストールできません。

制限事項

以下の制限があります。

- ソース コンピュータのすべての IDE は少なくとも 1 回は起動して、デフォルト設定を作成しておく必要があります。これは、8.0 から 8.0 にマイグレートするときに当てはまります。
- マイグレーション後に IDE のデフォルト設定がリセットされてしまうため、プロファイルはマイグレートされません。これは、8.0 から 8.0 にマイグレートするときに当てはまります。
- 外部ツールは、マイグレーション前にデスティネーション コンピュータ上にインストールされている必要があります。これは、8.0 から 8.0 にマイグレートするときに当てはまります。
- アドインは、マイグレーション前にデスティネーション コンピュータ上で利用可能である必要があります。これは、6.0 から 6.0 にマイグレートするときに当てはまります。
- フォントおよび色の設定はマイグレートされません。これは、7.1 から 8.0 にマイグレートするときに当てはまります。

Netscape

アプリケーションスクリプト

Netscape はクロスプラットフォーム ブラウザです。

リリース日

2007/10/31

設定の説明

Netscape スクリプトにより、Netscape Browser (8.0 および 8.1) と Netscape Navigator (9.0) の以下の設定がマイグレートされます。

- [Configuration] オプションを使用すると、すべての構成設定がマイグレートされます。
- [Cookies] オプションを使用すると、すべての cookie がマイグレートされます。cookie は、最近参照した Web サイトのリストを保持します。
- [Bookmarks] オプションを使用すると、ユーザのすべてのブックマークがマイグレートされます。
- [Search Plugins] オプションを使用すると、Netscape の組み込み検索機能のアドオンがマイグレートされます。
- [Datacards] オプションを使用すると、格納されているデータカードに関するすべての情報がマイグレートされます。
- [History] オプションがオンになっている場合、これを使用すると、アクセスしたすべてのサイトと検索した項目がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 8.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 8.1
- バージョン 8.0 から 9.1
- バージョン 8.1 から 8.1
- バージョン 8.1 から 9.1
- バージョン 9.1 から 9.1

注意

- マイグレートする前に、Netscape のすべてのインスタンスを閉じてください。
- マイグレートした後は、宛先にあるすべてのプロファイルが保持されます。ソースと宛先の両方にデフォルトプロファイルがある場合は、ソースのデフォルトプロファイルのみが保持されます。
- マイグレーションを開始する前に一度 Netscape を実行してください。

制限事項

以下の制限があります。

- すべてのプロファイルを表示するには、[Profiles] - [Global Settings] の [Show Login Screen when Starting Netscape] オプションをオンにします。これは、8.0 から 8.1 にマイグレートするときに当てはまります。
- 「Chrome Registration Failed」というエラーメッセージが表示されます。このメッセージは、プロファイルを初めて使用する時のみ表示されます。Netscape 自体で必須の登録が行われます。マイグレーションを正常に完了するには、[OK] をクリックします。これは、以前のすべてのバージョンから 9.0 にマイグレートする際に当てはまります。
- すべてのシナリオでプロファイルピクチャがマイグレートされるわけではありません。これは、8.1 から 8.1 にマイグレートするときに当てはまります。
- ブックマークを表示するには、[Manage Bookmarks] をクリックします。これは、以前のすべてのバージョンから 9.0 にマイグレートする際に当てはまります。
- 拡張機能、テーマ、およびプラグインなどのダウンロードのマイグレーションはサポートされていません。テーマは、一部のシナリオではマイグレートされることがありますが、マイグレーション後に手動でカスタムテーマをインストールすることをお勧めします。これは、以前のすべてのバージョンから 9.0 にマイグレートする際に当てはまります。
- アプリケーションの問題：新規プロファイルの作成時に、デフォルトプロファイルのファイルが作成されますが、[Profile] メニューからは削除されません。複数のプロファイルが存在する場合は、マイグレーション前にデフォルトプロファイルを手動で削除する必要があります。これは、以前のすべてのバージョンから 9.0 にマイグレートする際に当てはまります。

Netware Client

アプリケーションスクリプト

Netware Client

リリース日

2002/06/10

マイグレーションパス

- バージョン 4 から 4

Norton AntiVirus

アプリケーションスクリプト

Norton AntiVirus

リリース日

2002/06/10

設定の説明

Norton AntiVirus スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- 全般的な設定
- Live Update
- RescueDisk
- スケジュール済みタスク

マイグレーションパス

- バージョン 5 から 5

Norton Ghost

アプリケーションスクリプト

Norton Ghost

リリース日

2002/06/10

設定の説明

すべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 2000 から 2000

Norton Internet Security

アプリケーションスクリプト

Norton Internet Security (NIS) は、インターネットを総合的に保護することに重点を置いたコンピュータユーティリティスイートです。

リリース日

2001/03/22

設定の説明

Norton Internet Security スクリプトにより、ファイルスキャンや電子メールスキャンの設定などの全般的な設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 2001 から 2001

Norton Utilities NT

アプリケーションスクリプト

Norton Utilities リリースは、Disk Doctor、Speed Disk、System Doctor、UnErase Wizard などのソフトウェアユーティリティの集合です。Norton Utilities は自動修復を行い、Windows NT サーバとワークステーションを保護します。

リリース日

2001/01/30

設定の説明

Norton Utilities スクリプトには、以下の設定が含まれます。

- [Norton Disk Doctor] オプションを使用すると、Norton Disk Doctor の設定がマイグレートされます。Norton Disk Doctor は、ファイルディレクトリでエラーを確認して、エラーの修復を試みます。
- [Speed Disk] オプションを使用すると、Norton Speed Disk の設定がマイグレートされます。Norton Speed Disk は、NT ファイルのデフラグと最適化を行います。
- [System Information] オプションを使用すると、Norton System Information の設定がマイグレートされます。Norton System Information は、システムに関する総合的な情報（CPU や BIOS の情報など）をユーザに提供します。[System Information] により、ディスク領域の使用率、メモリの使用率、ネットワーク情報、マルチメディア コンポーネント、およびプリンタと表示の詳細に関するステータスレポートが表示されます。
- [Norton System Doctor] オプションを使用すると、Norton System Doctor の設定がマイグレートされます。Norton System Doctor は、ワークステーションまたはサーバを継続的に監視します。これによって、システムのクラッシュやデータの損失が発生する前に、潜在的な問題を予測して、自動的に修正します。
- [UnErase Wizard] オプションを使用すると、UnErase Wizard の設定がマイグレートされます。UnErase Wizard は、失われたファイルを回復するために使用できます。

マイグレーションパス

- バージョン 1.0 から 1.0

注意

- マイグレートする前に、Norton Utilities が完全に停止していることを確認してください。

Paint Shop Pro

アプリケーションスクリプト

Paint Shop Pro

リリース日

2002/06/10

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 5 から 5
- バージョン 5 から 6
- バージョン 6 から 6

制限事項

デジタルカメラの設定は、バージョン 5 からバージョン 6 へアップグレードされません。

Palm Desktop

アプリケーションスクリプト

Palm Desktop アプリケーションは、Palm スマート フォンをオフライン情報と同期します。

リリース日

2005/05/18

設定の説明

Palm Desktop スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- すべての Palm ユーザに適用される全般的な設定
- Palm ユーザのデータおよび設定に基づくユーザ設定

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 3.1 から 3.1
- バージョン 3.1 から 4.0.1
- バージョン 3.1 から 4.1.4
- バージョン 4.0.1 から 4.0.1
- バージョン 4.0.1 から 4.1.4
- バージョン 4.1.4 から 4.1.4

注意

- 混乱を避けるために、すべての Palm 設定をマイグレートすることをお勧めします。
- [Custom Columns] ラベルはユーザ設定として保存されますが、[View Columns] ラベルは全般的な設定として保存されます。このため、全般的な設定のみをマイグレートすると、[Custom Columns] ラベルは未定義として表示されます。

制限事項

以下の制限があります。

- ユーザ設定のマイグレーションでは、[Contacts]、[Tasks]、および [Memos] アプリケーションの [View Sort By] オプションは、以前のバージョンから 4.1.4 にマイグレートされません。
- 以前のバージョンから 4.1.4 への全般的な設定のマイグレーションでは、アプリケーションタブの順序が変更されます。
- ユーザ設定のマイグレーションでは、アドレスの [Primary Contact] オプションは、4.0.1 から 4.1.4 にマイグレートされません。
- ユーザ設定のマイグレーションでは、HotSync のインストール設定は、4.0.1 から 4.1.4 にマイグレートされません。
- ユーザ設定のマイグレーションでは、[Tasks View] オプションは、4.0.1 から 4.1.4 にマイグレートされません。
- 全般的な設定のマイグレーションでは、アドレスの [View Show Columns] オプションは、4.0.1 から 4.1.4 に部分的にしかマイグレートされません。
- [ToDo View Show Options] はマイグレートされません。バージョン 4.0.1 および 4.1.4 では、[Tasks (ToDo) View Show Columns] は全般的な設定としてマイグレートされます。バージョン 3.1 では、ユーザ設定としてマイグレートされます。

pcAnywhere

アプリケーション スクリプト

pcAnywhere

リリース日

2002/06/10

設定の説明

pcAnywhere スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- ツールバー
- ホストの設定
- リモートの設定
- Caller ID

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 8 から 8
- バージョン 8 から 9
- バージョン 9 から 9

QuarkXpress

アプリケーションスクリプト

QuarkXpress

リリース日

2002/06/10

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 3.31 から 3.31
- バージョン 3.31 から 4.0
- バージョン 4.0 から 4.0

QuickView Plus

アプリケーションスクリプト

QuickView Plus

リリース日

2002/06/10

設定の説明

QuickView Plus スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- 表示設定
- [ツールバー]
- 一般オプション
- 表示オプション

- 印刷オプション
- クリップボード設定
- 環境設定

マイグレーションパス

- バージョン 5 から 5

QuickBooks Pro

アプリケーションスクリプト

QuickBooks Pro

リリース日

2002/06/10

マイグレーションパス

- バージョン 99 から 99

Quicken

アプリケーションスクリプト

Quicken により、Quicken のデータ ファイルおよび設定が管理されます。

リリース日

2005/03/24

設定の説明

Quicken スクリプトにより、Quicken 設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 1999 から 1999
- バージョン 1999 から 2000
- バージョン 1999 から 2001
- バージョン 1999 から 2002
- バージョン 1999 から 2003
- バージョン 1999 から 2004
- バージョン 1999 から 2005
- バージョン 2000 から 2000
- バージョン 2000 から 2001
- バージョン 2000 から 2002
- バージョン 2000 から 2003
- バージョン 2000 から 2004
- バージョン 2000 から 2005
- バージョン 2001 から 2001
- バージョン 2001 から 2002
- バージョン 2001 から 2003
- バージョン 2001 から 2004
- バージョン 2001 から 2005

- バージョン 2002 から 2002
- バージョン 2002 から 2003
- バージョン 2002 から 2004
- バージョン 2002 から 2005
- バージョン 2003 から 2003
- バージョン 2003 から 2004
- バージョン 2003 から 2005
- バージョン 2004 から 2004
- バージョン 2004 から 2005
- バージョン 2005 から 2005

注意

Quicken には、Basic、Deluxe、Premier、および Premier Home and Business の 4 つのバージョンがあります。これらのバージョン間でマイグレーションを実行しないでください。

制限事項

以下の制限があります。

- [Edit] - [Preferences] - [Reminders] の設定は、2005 にはマイグレートされません。
- マイグレートされない設定もあります。設定ファイルは形式が異なるため、以前のバージョンから 2005 に自動的に変換されません。

RealOne Player

アプリケーションスクリプト

RealOne Player は、クロスプラットフォームのメディアプレーヤです。MP3、MPEG-4、QuickTime、Windows Media、および複数バージョンの独自仕様の RealAudio および RealVideo フォーマットなど、多数のマルチメディアフォーマットを再生できます。

リリース日

2002/07/08

設定の説明

このスクリプトを使用すると、RealOne Player のすべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 6.0 から 6.0

注意

- プレイリストはマイグレートされません。

Siebel Sales, Personal Edition

アプリケーションスクリプト

Siebel Sales, Personal Edition

リリース日

2002/06/10

マイグレーションパス

- バージョン 6.01 から 6.01

System Mechanic

アプリケーションスクリプト

System Mechanic

リリース日

2002/06/10

マイグレーションパス

- バージョン 3.5 から 3.5

Timbuktu

アプリケーションスクリプト

Timbuktu

リリース日

2002/06/10

設定の説明

Timbuktu スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- セキュリティ設定
- Guest の設定
- 登録済みユーザの設定
- 全般的な設定
- Observe/Control の設定

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 1.5 から 1.5
- バージョン 1.5 から 2.0
- バージョン 2.0 から 2.0

Winamp

アプリケーションスクリプト

Winamp を使用すると、音楽ファイルを再生して、プレイリストで音楽ファイルを管理できます。Winamp では、MP3 のほかに、幅広い種類の現代の特殊な音楽ファイルフォーマットがサポートされます。たとえば、MIDI、MOD、MPEG-1 Audio Layers 1 と MPEG-1 Audio Layer 2、AAC、M4A、FLAC、WAV、および Windows Media Audio などがあります。

リリース日

2002/09/12

設定の説明

Winamp スクリプトには、以下の設定が含まれます。

- [Settings] オプションを使用すると、Winamp のすべての設定がマイグレートされます。
- [Skins] オプションを使用すると、Winamp のスキンがマイグレートされます。
- [Local Playlists] オプションを使用すると、ローカルプレイリストがマイグレートされます。これは、バージョン 3.0 の場合のみ当てはまります。

マイグレーションパス

- バージョン 2.8 から 2.8
- バージョン 3.0 から 3.0

注意

- 新規バージョンのスキンが宛先で使用可能な場合は、上書きされません。
- Winamp3 のスキンによっては、スクリプトを使用し、特別に設定を格納するものもあります。これらの設定は適切にマイグレートされない可能性があります。
- ローカルプレイリストを制御するためにデフォルトのプレイリストエディタが使用されない場合は、プレイリストはマイグレートされません。これは、バージョン 3.0 の場合のみ当てはまります。

- メディア ファイルをマイグレーション先の同じ場所に移動するまで、プレイリストは有効になりません。これらのファイルは、ファイルおよびフォルダの選択を使用してマイグレートする必要があります。これは、バージョン 3.0 の場合のみ当てはまります。

制限事項

- Winamp 2.8 から 3.0 へのアップグレードはサポートされていません。

Windows Media Player

アプリケーションスクリプト

Windows Media Player は、Microsoft Windows が稼働するコンピュータでオーディオとビデオを再生するためのソフトウェアです。

リリース日

2007/1/17

設定の説明

Windows Media Player スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [設定] オプションを使用すると、ビデオ設定、メニューバー設定、プラグインのプロパティ、プレイヤーの設定、プレイ ビュー オプションなどがマイグレートされます。
- [File Associations] オプションを使用すると、Windows Media Player に関連付けられたすべてのファイルの種類 (.wma や .wmv など) がマイグレートされます。
- [Media Library (List Only)] オプションを使用すると、ライブラリ データベース ファイルがマイグレートされます。このファイルには、メディア ライブラリで追跡された情報が格納されています。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 8.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 9.0
- バージョン 8.0 から 11.0
- バージョン 8.0 から 12.0
- バージョン 9.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 11.0
- バージョン 9.0 から 12.0
- バージョン 12.0 から 12.0

注意

- ファイルフォーマットによっては、Windows Media Player の関連付けが解除されないものがあります。
- [Links from My Stations] は転送されません。
- メディア ライブラリのリンクは、メディア ファイルがソース コンピュータと同じ場所にある場合のみ機能します。
- [ツール] - [オプション] - [プレーヤー] - [プレーヤーの設定] の [スキンモードでは、常に手前に表示する] チェック ボックスの機能は、11.0 および 12.0 へのすべてのアップグレードで保持されます。これは、11.0 および 12.0 の [プレーヤーを他のウィンドウより手前に表示する] チェック ボックス ([ツール] - [オプション] - [プレーヤー] - [プレーヤーの設定]) がオンになっていない場合でも保持されます。
- プレイリストと関連ファイルは、[Files and Folders] オプションを使用してマイグレートできます。
- [ツール] - [オプション] - [セキュリティ] の [ゾーンの設定] は、IE の設定に関連付けられているため、IE のオプションを使用してマイグレートできます。
- [ファイル] メニューの [オフラインで実行] オプションは、Outlook または IE の設定に関連付けられているため、Outlook または IE のオプションを使用してマイグレートできます。

制限事項

以下の制限があります。

- [スキンモード] オプションは、8.0 から 11.0 および 12.0 へはマイグレートできません。
- [音楽の録音] の [次の音質で音楽を転送] オプションは、8.0 から 11.0 および 12.0 へはマイグレートできません。

Windows Messenger

アプリケーションスクリプト

Windows Messenger を使用すると、他のアプリケーションとリアルタイム通信を行うことができます。

リリース日

2005/06/28

設定の説明

WindowsMessenger スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [ツール] - [オプション] の全般的な設定がマイグレートされます。
- Plus を使用してインストールされた設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

マイグレーションパスは以下のとおりです。

- バージョン 4.6.0082 から 4.6.0082
- バージョン 4.6.0082 から 4.6.0084
- バージョン 4.6.0082 から 5.0.0482
- バージョン 4.6.0082 から 5.1.064
- バージョン 4.6.0084 から 4.6.0084
- バージョン 4.6.0084 から 5.0.0482
- バージョン 4.6.0084 から 5.1.064
- バージョン 5.0.0482 から 5.0.0482
- バージョン 5.0.0482 から 5.1.064
- バージョン 5.1.064 から 5.1.064

注意

- マイグレーション前に、Windows Messenger からサインアウトして終了しておく必要があります。
- サウンド オプションはシステム サウンドに関連し、マイグレートする必要がある場合はシステム設定で選択することができます。

- 連絡先リストファイルをマイグレートするには、*.ctt ファイルに対してフィルタを作成する必要があります。
- サーバに格納されている設定は、スクリプトを使用してマイグレートされません。サーバには設定に加えられた最新の変更が格納されています。この変更は、クライアントからサーバに接続すると使用できます。
- 以下のプラグインがサポートされます。
 - All Your Base
 - Emotitext
 - Matrix Sounds
 - Monty Python Sounds
 - DJMystic で再生中の音楽
 - QT sender
 - Random Quote
 - XFade
 - Slapper

制限事項

以下の制限があります。

- SIP ユーザ設定はマイグレートできません。
- ユーザ名、パスワード、およびその他のログオン情報はマイグレートできません。
- 前提条件を満たすプラグインは、デスティネーションで使用できます。プラグインに関連するエラーが発生すると、プラグインを再インストールするように要求されます。
- アドイン（インストールされている場合）のオンとオフは、バージョン 4.6 にはマイグレートできません。

WinFax Pro

アプリケーションスクリプト

Winfax Pro

リリース日

2002/06/10

設定の説明

WinFax Pro スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- ツールバー
- バックアップと復旧の設定
- 電話帳
- バックアップ スケジュール
- 通信記録
- 通信ステータス
- 注

マイグレーションパス

- バージョン 9 から 9

Winzip

アプリケーションスクリプト

Winzip では、ZIP ファイルの作成と変更、または ZIP ファイルからのコンテンツの抽出を行うことができます。

リリース日

08/03/2007

設定の説明

Winzip スクリプトにより、以下の設定がマイグレートされます。

- [Configuration] オプションを使用すると、Winzip のすべての構成設定がマイグレートされます。
- [File Associations] オプションを使用すると、Winzip のすべてのファイルの関連づけ設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 6.0 から 6.0
- バージョン 6.0 から 7.0
- バージョン 6.0 から 8.0
- バージョン 7.0 から 7.0
- バージョン 7.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 8.0
- バージョン 8.0 から 10.0
- バージョン 8.0 から 11.1
- バージョン 9.0 から 9.0
- バージョン 9.0 から 10.0
- バージョン 9.0 から 11.1
- バージョン 10.0 から 10.0
- バージョン 10.0 から 11.1
- バージョン 11.1 から 11.1
- バージョン 11.1 から 12.0

- バージョン 12.0 から 12.0
- バージョン 12.0 から 12.1
- バージョン 12.1 から 12.1
- バージョン 12.1 から 14.0
- バージョン 14.0 から 14.0
- バージョン 14.0 から 14.5
- バージョン 14.5 から 14.5
- バージョン 14.5 から 15.0
- バージョン 15.0 から 15.0
- バージョン 15.0 から 15.5
- バージョン 15.5 から 15.5

注意事項

- マイグレートする前に、Winzip のすべてのインスタンスを閉じてください。
- [Favorite] フォルダに追加されたお気に入りの zip ファイルをマイグレートするには、ファイルツリーでファイルを選択するか、または *.zip ファイルのフィルタを作成します。

制限事項

以下の制限があります。

- WinZip でマイグレートされないオプション：
 - [Options]、[Configuration]、[System]、[General]、[Include Winzip to the start menu]
 - [Options]、[Configuration]、[System]、[General]、[Include Winzip to the desktop]

WS_FTP Professional

アプリケーションスクリプト

WS_FTP は、Windows オペレーティングシステム用のファイル転送プロトコルクライアントソフトウェアです。WS_FTP は、WinSock File Transfer Protocol を表します。

リリース日

1999/04/03

設定の説明

このスクリプトを使用すると、WS_FTP Professional のすべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 6.01 から 6.01

Yahoo! メッセンジャ

アプリケーションスクリプト

Yahoo! メッセンジャは、インスタント メッセージング クライアントです。

リリース日

2007/10/16

設定の説明

このスクリプトを使用すると、のすべての設定がマイグレートされます。

マイグレーションパス

- バージョン 6.0.0.1750 から 6.0.0.1750
- バージョン 6.0.0.1750 から 7.0
- バージョン 6.0.0.1750 から 7.5
- バージョン 6.0.0.1750 から 8.1
- バージョン 7.0 から 7.0
- バージョン 7.0 から 7.5
- バージョン 7.0 から 8.1
- バージョン 7.5 から 7.5
- バージョン 7.5 から 8.1
- バージョン 8.1 から 8.1

注意

- サーバに格納されている設定は、スクリプトを使用してマイグレートされません。サーバには設定に加えられた最新の変更が格納されています。この変更は、クライアントからサーバに接続すると使用できます。
- ソースからデスティネーションへのマイグレーション前に、Yahoo Messenger からサインアウトして終了しておく必要があります。
- マイグレーション後にコンピュータを再起動することをお勧めします。

- スクリプトでは、Web カメラに関連するハードウェア設定のマイグレーションはサポートされません。必要に応じて、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] または [Yahoo Messenger] - [Preferences] - [Webcam] - [Camera Settings] でこのマイグレーションを行う必要があります。
- Yahoo Messenger スキンのスキームは、オペレーティング システムのスキームによって異なります。そのため、ソースと同じルック アンド フィールを実現するには、[システム設定] - [デスクトップの設定] - [デザイン] のスキーム設定をマイグレートします。
- [Help] - [Audio Setup Wizard] の設定は、システム サウンドに関連しています。この設定をマイグレートするには、[システム設定] - [サウンド] を使用します。

制限事項

以下の制限があります。

- [Content] タブは、設定が XML ファイルに格納されるプラグインになるため、すべてのバージョンから 8.1 へはマイグレートできません。
- [File Transfer] 設定は、すべてのバージョンから 8.1 へはマイグレートできません。この機能は、宛先バージョンでは使用不能であるためです。
- 個人プロファイルの [List Text] 設定は以前のバージョンから 8.1 へはマイグレートできません。この機能は、このバージョンでは使用不能であるためです。